

看護学部 看護学科 3 年次 シラバス

開設科目名	キリスト教概論Ⅱ	科目コード	BSNBG301	開設期	3年前期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	寺浜亮司	担当者	寺浜亮司、井手公平		
授業の概要（授業の目的）					
かけがえのない「いのち」を尊重し、平和な世の中にしたいとの切なる願望を人間は誰も抱いている。全人類が真の幸福に到達できるよう、福音書を通して周辺に追いやられた人々のもとへ自ら出向いて行かれたイエス・キリストの生き方に倣う。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 聖書（福音書）を読み、キリスト教の歴史及びキリスト教的人間観を学ぶ				1 全人的ケアの基本 2 倫理的本質	
2) 私たち人類、特に、弱い立場にある人々に対してのキリストのいつくしみと愛を知る				1 全人的ケアの基本 2 倫理的本質	
3) キリストの愛を知ることによって建学の精神に基づいた看護/ケアリングを実践することができる				1 全人的ケアの基本 2 倫理的本質	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：Zoomによる同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	キリスト教観点から人類の歴史(ペスト禍)を見る	講義 ＜面接＞	寺浜	1 年次「キリスト教概論Ⅰ」を復習しておくこと。聖書持参のこと	4時間
2	聖書と脳科学から見た人間論	講義 ＜面接＞	井手	創世記2章、いのちへのまなざし第1章	4時間
3	ホスピタリティ	講義 ＜面接＞	井手	聖書箇所は当日指示	4時間
4	命の輝き	講義 ＜面接＞	井手	聖書箇所は当日指示	4時間
5	語りかける神	講義 ＜面接＞	井手	聖書を読む：学修箇所は当日指示	4時間
6	自分と他者、異なる存在を知る	講義 ＜面接＞	寺浜	聖書を読む：学習箇所は当日指示	4時間
7	寄り添う者の存在について	講義 ＜面接＞	寺浜	聖書を読む：学習箇所は当日指示	4時間
8	人間の苦悩と死について マザー・テレサの歩み キリストとともに歩む	講義 ＜面接＞	寺浜	聖書を読む：学習箇所は当日指示	4時間
成績評価方法・基準	授業内レポート100%（寺浜）				
課題に対するフィードバック	アドバイスや質問には、リアクションペーパーで、個別に応える				
教科書	聖書 新共同約―旧約聖書続編付き 日本聖書協会 日本カトリック司教団：いのちへのまなざし（増補新版） カトリック中央協議会				
参考書・参考文献	特になし				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	寺浜亮司（非常勤講師） 質問は授業終了後教室にて受け付けます。 ＊後期からはいよいよ実習開始です。人間の尊厳を尊重した全人的ケアの基盤であるキリスト教的人間観をしっかり学んでください。 ＊井手公平先生の講義で「いのちへのまなざし」を使用します。忘れずに持参してください。				

開設科目名	Practical English Skills	科目コード	BSNBG302	開設期	3 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要（授業の目的）					
This class is the final (optional) class of the Global Human Resources course at St. Mary’s College. In this class students will develop the English grammar and vocabulary knowledge and skills required for the TOEIC Test. They will also receive hints on test-taking strategies and thereby develop confidence in their test-taking ability.					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) Students will develop English grammar and vocabulary knowledge.			◎ 6 コミュニケーションスキル（語学）		
2) Students will develop interpretation skills to quickly describe subjects and activities in photographs.			2 豊かな人間性の基礎		
3) Students will develop TOEIC test-taking skills.			11 多様な価値尊重		
4) Students will develop confidence in their test-taking ability.			13 地域国際社会への貢献		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔時の授業方法：zoom による同時双方向授業					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Picture description practice, TOEIC problems	講義〈遠隔〉	FORTIN	Bring motivation	2 時間
2	Response question practice, TOEIC problems	講義〈遠隔〉	FORTIN	Review	2 時間
3	Conversation question practice, TOEIC problems	講義〈遠隔〉	FORTIN	Review	2 時間
4	Explanation question practice, TOEIC problems	講義〈遠隔〉	FORTIN	Review	2 時間
5	Grammar/Vocabulary question practice, TOEIC problems	講義〈遠隔〉	FORTIN	Review	2 時間
6	Error correction question practice, TOEIC problems	講義〈遠隔〉	FORTIN	Review	2 時間
7	Reading comprehension question practice, TOEIC problems	講義〈遠隔〉	FORTIN	Review	2 時間
8	Review, Practice TOEIC Test questions, Final presentation and report	講義〈遠隔〉	FORTIN	Review	2 時間
成績評価方法・基準		Weekly participation: 50%; Presentation: 25%; Report: 25%			
課題に対するフィードバック		模擬 TOEIC 試験の解答の説明と練習			
教科書		Handouts prepared by the instructor (教員のプリント)			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		Eric Fortin (6 号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30～17:30			

開設科目名	医療統計学Ⅱ	科目コード	BSNFN301	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（ 選択 ）	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代 井手悠一郎		
授業の概要（授業の目的）					
本科目では医療統計学Ⅰを発展させ、疫学調査と保健活動につなげるデータ思考を身に着ける。国が提供する一大規模データの可視化や要約のパソコン演習を通し、地域の課題抽出と意思決定に向けたデータ活用を考察する。また、推測統計の思考と、その背景にある統計学の基礎知識を学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) パソコンを用いてデータを可視化し、要約する方法を習得できる。				4 論理的・科学的問題発見力 ◎ 9 科学的根拠に基づく看護	
2) 地域のデータを用いて、情報を集約し、課題を抽出できる。					
2) 推測統計の意味を理解し、計算結果の意味を説明できる。					
3) Microsoft Excel と JMP の操作を習得する。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の場合の方法：Teams によるリアルタイムオンライン授業					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	連続データの要約統計量 —Excel と JMP を用いた分析	講義.個人ワーク 〈面接〉	堤 井手悠	予習：教科書 P6～31 を読んでおく。 復習：課題データについて、Excel で計算する。	4 時間
2	推測統計の考え方 —母平均の区間推定	講義.個人ワーク 〈面接〉	堤 井手悠	予習：教科書 P70～85 を読んでおく。 復習：課題データについて、Excel で計算する。	4 時間
3	仮説検定 二標本の母平均の区間推定と検定	講義.個人ワーク 〈面接〉	堤 井手悠	予習：教科書 P86～97 を読んでおく。 復習：課題データについて、Excel で計算する。	4 時間
4	2 変数の検定 相関、回帰、カイ二乗検定	講義.個人ワーク 〈面接〉	堤 井手悠	予習：教科書 P106～125 を読んでおく。 復習：課題データについて、Excel で計算する。	4 時間
5	データ分析演習① 大規模データの可視化	講義.個人ワーク 〈面接〉	堤 井手悠	予習：総務省統計局のサイトにアクセスしておく。 復習：対応表をみながら、データ構造を理解する。	4 時間
6	データ分析演習② データクレンジングとハンドリング	講義.個人ワーク 〈面接〉	堤	予習：分析課題のテーマを考えておく。 復習：自身の課題についてデータ分析を行う。	4 時間
7	データ分析演習③ 分析結果の表現	個人ワーク 〈面接〉	堤	復習：自身の課題についてデータ分析を行う。	4 時間
8	データ分析演習④ 結果の発表	発表 〈面接〉	堤	データ分析レポートの作成。	4 時間
成績評価方法・基準	データ分析レポート 100%（評価者：堤）				
課題に対するフィードバック	授業内の演習課題については、その都度フィードバックします。 演習課題は、次回講義内で解説します。Webclass でレポートに対するコメントをお返しします。				
教科書	豊田修一他著 『やさしい統計処理』 実教出版				
参考書・参考文献	柳川堯他著 『新 看護・リハビリ・福祉のための統計学』 三井正著 『JMP ではじめるデータサイエンス』				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	本科目は、society5.0 に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。society5.0 に向け、全ての大学生が身に着けるべきデータ活用のための知識と技術を中心に展開します。医療統計学Ⅰで学んだ基礎に積み上げ、Microsoft Excel や統計ソフト JMP を操作し、将来の看護師や保健師業務に活かせる実務的内容として指導しますので、積極的に選択履修してください。特に保健師コースには重要な内容です。 対面授業は、パソコン室（242 教室）で行います。各自で USB メモリーを持参してください。 堤 千代（2 号館 1F 220 研究室）オフィスアワー：火曜 12:10～13:10 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com 私の研究分野は、看護におけるバイオ統計学の応用です。これまで研究で用いた方法の基礎的内容について、授業全般を通して教授します。				

開設科目名	疫学Ⅱ	科目コード	BSNFN302	開設期	3年前期
単位数（履修区分）	1 単位（選択）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	藤枝 恵	担当者	藤枝 恵		
授業の概要（授業の目的）					
疫学調査の実例を学ぶことにより、疫学・保健統計を体系的に整理し、E B Mの基本的知識の理解を深め、その実践的姿勢を培う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
看護の実践に必要な医療情報を収集することができる			4. 論理的・科学的問題発見力 5. 問題解決判断力 9. 科学的根拠に基づく看護		
看護の現場で得られた情報を整理し、分析することができる					
看護の現場で疫学研究から得られた結果について説明できる					
看護の現場で簡単な調査を計画し、情報を収集、分析することができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	感染症の集団発生に関する調査	講義(面接または zoom)、 演習	藤枝	講義の復習（講義終了時に出す課題についてレポートを作成する）	4 時間
2	感染症の集団発生に関する調査	講義(面接または zoom)、 演習	藤枝	講義の復習（講義終了時に出す課題についてレポートを作成する）	4 時間
3	生活習慣に関する調査	講義(面接または zoom)、 演習	藤枝	講義の復習（講義終了時に出す課題についてレポートを作成する）	4 時間
4	生活習慣に関する調査	講義(面接または zoom)、 演習	藤枝	講義の復習（講義終了時に出す課題についてレポートを作成する）	4 時間
5	疫学研究の実例	講義(面接または zoom)、 演習	藤枝	講義の復習（講義終了時に出す課題についてレポートを作成する）	4 時間
6	疫学研究の実例	講義(面接または zoom)、 演習	藤枝	講義の復習（講義終了時に出す課題についてレポートを作成する）	4 時間
7	演習	講義(面接または zoom)、 演習	藤枝	研究計画、研究実施等に関する演習	4 時間
8	まとめ	講義(面接) 試験	藤枝	復習	4 時間
成績評価方法・基準		① 試験 30% ② 授業内・授業外レポートなどの提出物 30% ③ 授業態度・参加度 30% ④ 発表 10% ※いずれも科目責任者が評価を行う			
課題に対するフィードバック		課題についての説明（解答、解説を含む）は、課題提出日以降の講義の中で行う。			
教科書		中村好一：基礎から学ぶ 楽しい疫学、第 4 版、医学書院			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスワーカー 学習相談 メッセージ その他		講義終了後に質問を受け付けます。 感染症、睡眠、うつ病等に関する疫学研究、および臨床医としての経験に基づき、疫学Ⅱの講義を行います。			

開設科目名	スキルラボ臨床レベル 2	科目コード	BSNNCP301	開設期	3 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	演習
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、崎田マユミ、近末清美、小浜さつき、石本祥子、塩汲望美、綱脇慎治、他		
授業の概要 (授業の目的)					
臨床看護学方法論Ⅰ (急性疾患、急性の機能障害を持つ成人期の患者への看護) 及び臨床看護学方法論Ⅱ (慢性疾患、慢性の機能障害を持つ成人期の患者への看護) で学習した、行動に影響を及ぼす刺激を調整するための看護技術を修得する。さらに、ME 機器等の取扱いについても修得する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1) 酸素摂取、排泄、体液・電解質、酸・塩基平衡に関する看護技術を安全安楽に実施できる			3. 看護実践知識 ◎8. 看護実践技術 9. 科学的根拠に基づく看護		
2) ME 機器を安全に操作する方法・留意点を説明できる					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等) ※遠隔授業の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	・コースガイダンス ・酸素摂取に関する看護技術① (技術：酸素吸入、心電図モニター装着、12 誘導心電図)	講義・討論 ＜遠隔＞	鶴田 他	教科書を読み、指定された動画を視聴しておく、WebClass で提示された事前課題をする、Stream で動画を視聴する、WebClass で確認テストを受ける。スキルラボで技術練習を繰り返し行う。	6 時間
2	酸素摂取に関する看護技術② Skill Lab	実技＜面接＞			
3	排泄に関する看護技術① (技術：導尿、浣腸)	講義・討論 ＜遠隔＞	石本 他	教科書を読んでおく、事前課題をする、Stream で動画を視聴する、スキルラボで技術練習を繰り返し行う。	6 時間
4	排泄に関する看護技術② Skill Lab	実技＜面接＞			
5	体液・電解質、酸・塩基平衡に関する看護技術① (技術：静脈内注射、点滴管理、輸液ポンプ・シリンジポンプの管理、)	講義・討論 ＜遠隔＞	塩汲 他	教科書を読んでおく、事前課題をする、Stream で動画を視聴する。	6 時間
6	体液・電解質、酸・塩基平衡に関する看護技術② Skill Lab	実技＜面接＞			
7	体液・電解質、酸・塩基平衡に関する看護技術③ (技術：中心静脈カテーテルの管理、輸血)	講義・討論 ＜遠隔＞	綱脇	教科書を読んでおく、事前課題をする Stream で動画を視聴する。	6 時間
8	行動に影響を及ぼす刺激を調整するための看護技術 既修技術の確認と復習	実技 ＜面接＞	鶴田 他	これまで修得した技術について Stream で動画を視聴し、復讐しておく、スキルラボで技術練習を繰り返し行う。	6 時間
成績評価方法・基準		技術試験 100% (担当教員全員)			
課題に対するフィードバック		技術試験の結果は、当日フィードバックします			
教科書		臨床基礎技術論Ⅰ・Ⅱのテキストを活用します			
参考書・参考文献		・シスター・カリスタ・ロイ著／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル、第 2 版、医学書院、2010。 ・T.ヘザー・ハードマン／上鶴重美：NANDA-Ⅰ看護診断 定義と分類 2018-2020、原著第 11 版、医学書院、2018。			
オフィスワーク 学習相談 メッセージ その他		＊オフィスアワー：鶴田明美 (2 号館 1 階 223 号室) 火曜 16:00～17:00 事前に連絡をしてください。 ・本科目の進め方： ・事前に提示された事例について、デモンストレーション、クリティカルシンキング、ディスカッションの後に実技演習を行います。 ・第 1 回のコースガイダンスで各回の日程及び授業内容について説明します。各回の担当者は変更になる場合があります。 ・ICT の活用：修得技術の復習のため WebClass による確認テストを受講できます。 ・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	臨床看護実践学	科目コード	BSNNCP302	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、宮林郁子、崎田マユミ、鶴田明美、近末清美、小浜さつき、石本祥子、塩汲望美、綱脇慎治、有働由樹他		
授業の概要（授業の目的）					
本講義では、医療者教育におけるオスキーの概要を学ぶ。特に、看護教育におけるオスキーの必要性について理解する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 医療者教育におけるオスキーの概要を説明できる。			3.看護実践知識、4.論理的・科学的問題発見力、5.問題解決判断力		
2. 看護教育におけるオスキーの必要性について説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	医療者教育におけるオスキーの概要	講義 <遠隔>	宮林	配布資料の復習を行うこと。	4 時間
2	看護教育におけるオスキーの概要	講義 <遠隔>	宮林	配布資料の復習を行うこと。	4 時間
3	看護教育におけるオスキーの実際①	講義 <遠隔>	日高他	課題等に関しては、講義内でお知らせします。	4 時間
4	看護教育におけるオスキーの実際②	講義 <対面>	日高他		4 時間
5	看護教育におけるオスキーの実際③	講義 <対面>	日高他		4 時間
6	看護教育におけるオスキーの実際④	講義 <対面>	日高他		4 時間
7	看護教育におけるオスキーの実際⑤	講義 <対面>	日高他		4 時間
8	まとめ	講義	日高他		4 時間
成績評価方法・基準		レポート 100%（評価者：科目責任者が評価します。）			
課題に対するフィードバック		講義中に提出されたレポートは、後日返却します。 定期試験については、後日全体的な解説を公表します。			
教科書		・Lynn.S.Bicley 著、福井次矢、井部俊子監修：Bates’ Guide to Physical Examination and History Taking. ・監訳：日本看護診断学会、NANDA-I 看護診断定義と分類 2018-2020、医学書院、2017.			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		日高艶子（7 号館 3 階、731 研究室）、オフィスアワー：金曜日 16：00～17：00 本科目の受講要件は、看護学総論、看護学概論、看護理論学、臨床基礎技術論Ⅰ、スキルラボ基礎レベル 1、臨床基礎技術論Ⅱ、スキルラボ基礎レベル 2、臨床看護診断学、スキルラボ臨床レベル 1、臨床基礎看護学実習Ⅰ、臨床看護学方法論Ⅰ、臨床看護学方法論Ⅱ、臨床看護学方法論演習、臨床基礎技術論Ⅱの単位を修得し、スキルラボ臨床レベル 2 を受講し、学習目標に到達する見込みのある者とする。本科目の受講要件に関する科目を、十分に復習して受講することが望ましい。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	スキルラボ臨床レベル3	科目コード	BSNNCP303	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	演習
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、宮林郁子、崎田マユミ、鶴田明美、近末清美、小浜さつき、石本祥子、塩汲望美、綱脇慎治、有働由樹他		
授業の概要（授業の目的）					
呈示された事例に対して患者の安全を配慮したコミュニケーション技術、身体診察技術を用いて患者の健康状態を推論し、看護診断を検討する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 呈示された患者に対して安全を配慮したコミュニケーション技術を提供できる。			3. 看護実践知識、4.論理的・科学的問題発見力、5.問題解決判断力		
2. 呈示された患者に対して安全で正確な身体診察技術を提供できる。					
3. 呈示された患者に対して健康状態を推論し、看護診断を述べる事が出来る。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション	実技	日高	具体的な内容については、授業中に説明します。	4 時間
2	課題 1	実技	日高他		4 時間
3	課題 1	実技	日高他		4 時間
4	課題 1	実技	日高他		4 時間
5	課題 2	実技	日高他		4 時間
6	課題 2	実技	日高他		4 時間
7	課題 2	実技	日高他		4 時間
8	まとめ	実技	日高他		4 時間
成績評価方法・基準	実地試験 100% （評価者：各課題の担当教員が評価します）				
課題に対するフィードバック	実地試験の評価結果は、その都度教員がフィードバックします。				
教科書	・Lynn.S.Bicley 著，福井次矢，井部俊子監修：Bates’ Guide to Physical Examination and History Taking. ・監訳：日本看護診断学会、NANDA-I 看護診断定義と分類 2018-2020、医学書院、2018.				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	日高艶子（7 号館 3 階、731 研究室）、オフィスアワー：金曜日 16：00～17：00 本科目の受講要件は、看護学総論、看護学概論、看護理論学、臨床基礎技術論Ⅰ、スキルラボ基礎レベル1、臨床基礎技術論Ⅱ、スキルラボ基礎レベル2、臨床看護診断学、スキルラボ臨床レベル 1、臨床基礎看護学実習Ⅰ、臨床看護学方法論Ⅰ、臨床看護学方法論Ⅱ、臨床看護学方法論演習、臨床基礎技術論Ⅱの単位を修得し、スキルラボ臨床レベル 2、臨床看護実践学を受講し、学習目標に到達する見込みのある者とする。 本科目の受講要件に関する科目を、十分に復習して受講することが望ましい。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	臨床看護学実習 I	科目コード	BSNNCP304	開設期	3 年後期～4 年前期
単位数（履修区分）	3 単位（必修）	時間数	135 時間	授業区分	実習
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、石本祥子、塩沼望美、綱脇慎治、他		
授業の概要（授業の目的）					
クリティカルな状態にある成人期の患者にロイ適応看護モデルを適用し看護過程を展開する。クリティカルな状態，周術期にある患者や家族への看護について学ぶとともに，患者モニタリングの重要性について理解する。さらに，患者と家族，医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) クリティカルな状態，周術期にある成人期の患者の行動のアセスメント，刺激のアセスメント，看護診断，目標，介入，評価ができる。			◎ 8. 看護実践技術		
2) 看護過程の展開は，全ての段階において常にクリティカルに思考することができる。			◎ 9. 科学的根拠に基づく看護		
3) 患者のモニタリングの必要性を理解し，実施できる。			◎ 10. ケアリングの実践		
4) クリティカルケアの場の種類と特性および看護師の役割について記述できる			11. 多様な価値を尊重する姿勢		
5) 患者と家族，医療関係者との関係を通して看護専門職としての倫理観や価値観，公平性，相手を尊重する態度について記述できる。			12. 他職種協調リーダーシップ		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） ※遠隔授業の方法：Teams による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	
1	Nursing Clinical Practicum Hand Book 参照	実 習 * 一部 遠 隔 に て 実 施	各担当 教 員	・Nursing Clinical Practicum Hand Book を熟読する	
2				・クリティカルな状態、周術期にある患者・家族の特徴と看護について	
3				の復習	
4				・系統的情報収集のためのインタビュー技術の復習	
5				・フィジカルアセスメント技術の復習	
6				・担当患者の疾患・病態、検査・治療に関する学修	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準	臨床看護学実習 I の評価表に基づく評価 100% 成績評価者：担当者全員				
課題に対するフィードバック	実習前・実習中・実習後にコメントを伝えフィードバックします				
教科書	・シスター・カリスト・ロイ原著／松木光子監訳，ザ・ロイ適応看護モデル第 2 版，医学書院，2010。 ・監訳日本看護診断学会，N A N D A - I 看護診断 定義と分類 2018-2020，医学書院，2018。				
参考書・参考文献	・「病気が見える」シリーズ ・林直子他編：成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護（改訂第 3 版），南江堂，2019。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	＊ オフィスアワー：鶴田明美（2 号館 1 階 L 223 研究室）火曜 16:00～17:00（事前予約） E-mail:tsuruta@stmaryacjp.onmicosoft.com ＊ メッセージ：実習全般に関する問い合わせは科目責任者、病棟実習に関する事項については各指導教員にご連絡ください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	臨床看護学実習Ⅱ	科目コード	BNSA 305	開設期	3 年後期・4 年前期
単位数（履修区分）	3 単位（必修）	時間数	135 時間	授業区分	実習
責任者	崎田 マユミ	担当者	日高艶子、崎田マユミ、近末清美、小浜さつき、石本祥子、塩沼望美、網脇慎治、有働由樹、他		
授業の概要（授業の目的）					
慢性疾患，慢性の機能障害を持つ成人期の患者にロイ適応看護モデルを適用し看護過程を展開する。特にセルフケアと自己概念，対処の傾向を理解する。また，適応状況を維持，促進するための自己管理を目標とした患者教育について学ぶ。さらに，慢性疾患，慢性の機能障害を持つ患者と家族，医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1.慢性疾患，慢性の機能障害を持つ成人期の患者の行動のアセスメント，刺激のアセスメント，看護診断，目標，介入，評価ができる。			◎3. 看護実践知識		
2.看護過程の展開は，全ての段階において常にクリティカルに思考することができる。			4.論理的・科学的問題発見力		
3.対象者のセルフケアと自己概念，対処行動について述べるができる。			◎5. 問題解決判断力		
4.対象者の適応状況を維持・促進するためのセルフマネジメントを目標とした患者教育について述べることができる			◎8. 看護実践技術		
5.慢性疾患，慢性の機能障害を持つ患者と家族，医療関係者との関係を通して看護専門職としての倫理観や価値観，公平性，相手を尊重する態度について述べるができる。			9. 科学的根拠に基づく看護		
			◎10.ケアリングの実践		
			11.多様な価値を尊重する態度		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	担当者	方法	予習・復習(学習課題)	
1	Nursing Clinical Practicum Hand Book （実習ハンドブック） 参照	各指導 教員	実習 ※ 一 部 遠 隔 に て 実施	実習ハンドブックおよびオリエンテーション資料を読んでおく	
2				ロイ適応看護モデルの復習	
3				観察や測定技術の復習	
4				患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習	
5				慢性期看護の復習	
6				その他、各自の不足する内容を学習する	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準		臨床看護学実習Ⅱの評価表に基づく評価 100%（成績評価者：各実習担当教員）			
課題に対するフィードバック		実習前・実習中・実習後にコメントを伝えフィードバックします。			
教科書		① シスター・カリスト・ロイ／松本光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第 2 版，医学書院， ② 日本看護診断学会監訳：NANDA- I 看護診断 定義と分類 2018-2020，日本看護診断学会，医学書院，2018. ③ Lynn S. Bickley 他著，福井次矢他監修：バイツ診察法 第 2 版. メディカル・サイエンス・インターナショナル，2015.			
参考書・参考文献		・『病気がみえる』シリーズ ・臨床看護診断学、スキルラボ臨床レベル 1・2、臨床看護学方法論Ⅱ、臨床看護方法論演習等で使用したテキスト・資料			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：崎田マユミ（7 号館 3 階 733 号室）；火曜 16：30～17：30 ※上記時間以外は事前に予約をしてください。メールアドレス：sakita@stmaryacjp.onmicrospft.com 学習相談：実習全般に関する問い合わせは科目責任者にご連絡下さい。 各実習病棟での実習に関する問い合わせは各指導教員にご連絡下さい。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	精神看護学方法論Ⅱ	科目コード	BSNNCP306	開設期	3年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	60 時間	授業区分	講義・演習
責任者	谷多江子	担当者	谷多江子、倉成由美、八谷美絵、他		
授業の概要（授業の目的）					
精神看護領域で対象となるクライアントの生物学的、精神的、社会的側面を理解し、全体像を把握する能力を養う。また、患者が生活者として社会復帰するための支援方法を学ぶ。これらを通して、人間についての理解を深める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）精神障がいを持つ患者の体験について理解を深めることができる。			2 豊かな人間性の基礎		
2）精神障がいを持つ患者、家族について疾患の基礎知識、関連する理論をもとにアセスメントすることができる。			◎3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力 8 看護実践技術		
3）精神障がいを持つ患者、家族のアセスメントを基に、必要な支援を考えることができる。			9 科学的根拠に基づく看護		
4）精神障がいを持つ患者に対する治療的なコミュニケーション技術を習得する。			11 多様な価値を尊重する姿勢		
5）他職種と協働して行う患者の社会復帰への援助を理解できる。			12 他職種協調リーダーシップ		
6）こころを健康に保つための考え方について理解を深めることができる。			14 看護学発展への主体的探求姿勢		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：Webclass によるオンデマンド型または Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	症状と看護① 摂食障害	講義〈遠隔〉	八谷	配布資料の復習をする	1 時間
2	症状と看護② 強迫性障害	講義〈遠隔〉	八谷	配布資料の復習をする	1 時間
3	精神科の専門用語	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	2 時間
4	患者の人権擁護	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
5	症状と看護③ 不安障害	講義〈遠隔〉	倉成	配布資料の復習をする	1 時間
6	症状と看護④ パーソナリティ障害	講義〈遠隔〉	倉成	配布資料の復習をする	1 時間
7	症状と看護⑤ 統合失調症 症状・経過	講義・ワーク〈遠隔〉	倉成	統合失調症の症状、一般的な経過をまとめておく	1 時間
8	精神疾患と治療① 治療の基本	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
9	精神疾患と治療② 精神療法の理解と体験	講義・体験〈遠隔〉	谷	※課題は講義中に提示します	1 時間
10	精神疾患と治療③ 薬物療法	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	2 時間
11	精神疾患と治療④ 薬物の投与方法	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
12	精神疾患と治療⑤ 向精神薬の薬理作用	ワーク〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
13	精神障がい者の体験の理解① 体験のイメージ	ワーク〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
14	精神障がい者の体験の理解② 自己概念、相互依存、役割機能様式のアセスメント	講義・ワーク〈遠隔〉	八谷	※課題は講義中に提示します	1 時間
15	精神障がい者の体験の理解③ アセスメントから看護診断を導く	講義・ワーク〈遠隔〉	八谷	※課題は講義中に提示します	1 時間
16	精神障がい者の体験の理解④ 必要な看護	講義・ワーク〈遠隔〉	八谷	※課題は講義中に提示します	1 時間
17	症状と看護⑥ うつ病 症状・経過	講義〈遠隔〉	倉成	配布資料の復習をする	1 時間
18	症状と看護⑦ うつ病 事例検討	講義・ワーク〈遠隔〉	倉成	※課題は講義中に提示します	1 時間
19	症状と看護⑧ うつ病と自殺	講義・ワーク〈遠隔〉	倉成	※課題は講義中に提示します	1 時間
20	症状と看護⑨ 躁病	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
21	症状と看護⑩ アルコール依存症	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
22	治療的関係、治療的コミュニケーション	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
23	症状と看護⑪ 発達障害 症状と支援	講義〈遠隔〉	八谷	配布資料の復習をする	1 時間
24	症状と看護⑫ 発達障害 事例検討	講義〈遠隔〉	八谷	配布資料の復習をする	1 時間
25	治療共同体	講義〈遠隔〉	谷、他	資料を読み質問事項をまとめておく	1 時間
26	精神科リハビリテーション① 社会復帰に向けて	講義〈遠隔〉	倉成	講義内容の復習をする	2 時間
27	精神科リハビリテーション② 作業療法の実践	講義・体験〈遠隔〉	谷、他	※課題は講義中に提示します	1 時間
28	精神科看護の実践	講義〈遠隔〉	谷、他	※課題は講義中に提示します	
29	精神障がいを持つ患者の家族	講義〈遠隔〉	谷	配布資料の復習をする	1 時間
30	精神看護 CNS / まとめ	講義〈遠隔〉	谷	※課題は講義中に提示します	

成績評価方法・基準	①小テストおよび定期試験 50%（谷） ②クラス参加度（各回の課題） 50%（谷、倉成、八谷）
課題に対するフィードバック	講義中にフィードバックします。
教科書	・精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種のつながり 南江堂 2015 ・精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア 南江堂 2015
参考書・参考文献	・大熊輝雄 現代臨床精神医学 金原出版 2013 ・中井久夫 看護のための精神医学 医学書院 2004 ・坂田三允 症状別にみる精神科の看護ケア 中央法規 2007
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	谷 多江子（6号館 622 研究室） オフィスアワー：月曜日 16:30～17:30 ＊ICT の活用： WebClass で行う授業は、講義日程以後も繰り返し視聴し復習することができます。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 第 13 回については、「幻聴・妄想かるた」に関する研究成果を、第 29 回については、「映像教材」に関する研究成果を一部参照して講義を展開します。

開設科目名	精神看護学実習	科目コード	BSNNCP307	開設期	3 年後期～4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習
責任者	谷多江子	担当者	谷多江子、倉成由美、八谷美絵		
授業の概要（授業の目的）					
精神障がいを持つ患者と治療的関係を築き、患者の全体像を把握する能力を養う。また、チーム医療における看護師の役割を理解する。さらに、精神障がい者の治療開始から社会復帰までの過程、および地域で生活する精神障がい者とその家族に対する援助について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）患者-看護師関係を形成するために必要な基本的姿勢を身につける。			2 豊かな人間性の基礎 3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2）患者の全体像をとらえることができる。			◎8 看護実践技術 9 科学的根拠に基づく看護 ◎10 ケアリングの実践 11 多様な価値を尊重する姿勢		
3）チームアプローチにおける看護師の役割を認識する。			12 他職種協調リーダーシップ		
4）精神障がいを持ちながらその人らしく生きていくために家族、社会のあり方を考えることができる。			14 看護学発展への主体的探求姿勢		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） ※遠隔授業の方法： Teams または Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	急性期病棟、精神一般病棟、療養病棟のいずれかで実習する。 詳細は Nursing Clinical Practicum Hand Book 参照	実習	谷 倉成 八谷 ※ 一部遠隔にて実施	事前学修を行い実習に備える。	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準		実習評価表に基づく評価 100%（担当者全員）			
課題に対するフィードバック		実習中、日々フィードバックします。			
教科書		・精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種のつながり 南江堂 2015 ・精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア 南江堂 2015			
参考書・参考文献		・リンダ J. カルペニート著 新道幸恵 監修 竹花富子 訳『看護診断ハンドブック 第 10 版』医学書院 2013 ・大熊輝雄 現代臨床精神医学 金原出版 2013 ・中井久夫 看護のための精神医学 医学書院 2004 ・坂田三允 症状別にみる精神科の看護ケア 中央法規 2007			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		谷 多江子（6 号館 622 研究室） オフィスアワー：月曜日 16:30～17:30 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 「シャドウイング」に関する研究成果を一部参照して実習を展開します。			

開設科目名	母性看護方法論Ⅱ	科目コード	BSNNCP308	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	45 時間	授業区分	講義・演習
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、桃井雅子、井口亜由、野口ゆかり、柳本朋子、川上桂子、橋本武夫 他		
授業の概要（授業の目的）					
正常な妊娠・分娩・産褥期および新生児期にある対象者ならびに家族機能への看護を学び、対象者の健康の増進・健康問題の解決・逸脱の予防看護について理解する。対象者・家族の発達過程・健康レベルを把握し、対象者・家族のセルフケア能力を高める看護について考察する。母性看護に必要な看護およびセルフケア能力を高める演習などが含まれる。女性の生殖にかかわる基礎的知識を獲得し、ヒューマニゼーションならびに根拠に基づいた母性看護特有の看護について理解する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 生理的な適応過程にある母性看護の対象者の力に目を向け、畏敬の念を表現できる。			1. 生命の価値・人間の尊厳		
2. ヒューマニゼーションおよび人格の尊厳を尊重したケアについて考察できる。			2. 豊かな人間性の基礎		
3. 周産期における生理的な経過の看護過程を展開できる。 ロイ適応看護モデルの 4 つの適応様式から対象者を全人的に捉え、一連の看護過程を展開できる。			1 1. 多様な価値を尊重する姿勢		
4. セルフケア能力や持てる力を高める看護を考察して看護過程を展開できる。			3. 看護実践知識		
5. エビデンス（根拠）に基づき看護過程を展開できる。			◎ 4. 論理的・科学的問題発見力		
6. 妊娠・分娩・産褥期、新生児期に起こりうる正常からの逸脱と、その看護を理解できる。			◎ 5. 問題解決判断力		
7. 母性看護技術に関する基本知識と安全・安楽を確保するための方法・配慮点を理解し、演習ができる。			6. コミュニケーションスキル		
			7. 情報リテラシー		
			◎ 9. 科学的根拠に基づく看護		
			14. 看護学発展への主体的探索姿勢		
			◎ 3. 看護実践知識		
			◎ 8. 看護実践技術		
			◎ 9. 科学的根拠に基づく看護		
			1 0. ケアリングの実践		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業の方法：teams による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	科目ガイダンス (人格の尊厳と全人的ケア、根拠に基づく看護 他について) 看護過程展開① 導入	講義 〈対面〉	浅野	関連する「カトリックの愛の精神」「キリスト教概論」「生命倫理」及び「ウイメンズヘルス概論」「母性看護学方法論Ⅰ」の学修内容を復習しておく。 次回に向けた課題を提示する。	2 時間
2	看護過程展開② 新生児の定義・分類、新生児の人格の尊重 新生児の胎外生活への適応過程（出生直後）	講義 〈対面〉	浅野	講義終了時に課題を提示する。	2 時間
3	看護過程展開③ 新生児の胎外生活への適応過程と看護 (24 時間以内・24 時間以降)	講義 〈対面〉	浅野	講義終了時に課題を提示する。	2 時間
4	看護過程展開④ 新生児の胎外生活への適応過程と看護（24 時間以降）	講義 〈対面〉	浅野	講義終了時に課題を提示する。	2 時間
5	看護過程展開⑤ 対象の理解、情報のアセスメント 自己概念・役割機能・相互依存	講義 〈対面〉	浅野 井口	講義終了時に課題を提示する。	2 時間
6	看護過程展開⑥ 対象の理解、情報のアセスメント 自己概念・役割機能・相互依存	講義 〈対面〉	浅野 井口	講義終了時に課題を提示する。	2 時間
7	看護過程展開⑦ 対象の理解、情報のアセスメント 生理的様式	講義 〈対面〉	浅野 井口	講義終了時に課題を提示する。	2 時間
8	看護過程展開⑧ 全人的なケアに向けた事例の展開 事例の理解と情報整理	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	教科書の該当箇所および母性看護方法論Ⅰの講義資料に目を通しておき、講義には持参する。	2 時間
9	看護過程展開⑨ 全人的なケアに向けた事例の展開 情報整理とアセスメント	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	教科書および母性看護方法論Ⅰの講義資料を用いて予習・復習し、エビデンスを明らかにする。	2 時間
10	看護過程展開⑩ 全人的なケアに向けた事例の展開 刺激のアセスメントと診断	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	教科書および母性看護方法論Ⅰの講義資料を用いて予習・復習し、エビデンスを明らかにする。	2 時間

11	看護過程展開⑪ 全人的なケアに向けた事例の展開 全人的アセスメント（4 様式）の考察	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	教科書および母性看護方法論Ⅰの講義資料を用いて予習・復習し、エビデンスを明らかにする。	2 時間
12	看護過程展開⑫ 全人的なケアに向けた事例の展開 関連図・不足する情報考察	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	教科書の該当箇所に目を通して臨み、理論的根拠を考える。	2 時間
13	看護過程展開⑬ 全人的なケアに向けた事例の展開 問診・アセスメント・診断の再検討	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	教科書および母性看護方法論Ⅰの講義資料を用いて予習・復習し、エビデンスを明らかにする。	2 時間
14	看護過程展開⑭ 全人的なケアに向けた事例の展開 アセスメントに基づく看護計画の立案	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	教科書および母性看護方法論Ⅰの講義資料を用いて予習・復習し、エビデンスを明らかにする。	2 時間
15	看護過程展開⑮ 全人的なケアに向けた事例の展開 アセスメントに基づく看護計画の立案	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	教科書および母性看護方法論Ⅰの講義資料を用いて予習・復習し、エビデンスを明らかにする。	2 時間
16	看護過程展開⑯ 全人的なケアに向けた事例の展開 看護計画実施・評価	GW 〈対面〉	浅野、桃井 井口	実施した技術と看護過程全体を振り返り考察する。	2 時間
17	看護過程の展開⑰ 全人的なケアに向けた事例の展開 学習成果の共有	発表 〈対面〉	浅野、桃井 井口	他者の発表から自分の学びを統合する。	2 時間
18	妊娠期に起こりうる正常からの逸脱と看護	講義 〈対面〉	浅野	臨床病態学Ⅳ産科①～③（堀大蔵先生）講義資料に目を通し、持参する。	2 時間
19	分娩期に起こりうる正常からの逸脱と看護	講義 〈対面〉	浅野	臨床病態学Ⅳ産科①～③（堀大蔵先生）講義資料に目を通し、持参する。	2 時間
20	産褥期に起こりうる正常からの逸脱と看護	講義 〈対面〉	井口	講義終了時に課題を提示する。	2 時間
21	新生児期に起こりうる正常からの逸脱と看護	講義 〈対面〉	井口	講義終了時に課題を提示する。	2 時間
22	新生児のフィジカルアセスメントと清潔保持	実技 〈対面〉	浅野、桃井 井口他	事前配布資料と動画で予習をして臨む。	2 時間
23	Family-Centered-Care/Developmental Care	講義 〈対面〉	橋本	講義内容に関する事前学習、復習	1 時間
成績評価方法・基準		① 定期試験 50% （浅野、井口） ② 演習：看護過程の展開（グループワークと個人ワークへの取り組み、提出物） 40% （担当者全員） ③ 演習：母性看護技術（演習への取り組み・参加状況、技術評価） 10% （担当者全員）			
課題に対するフィードバック		定期試験のフィードバックは結果に応じて個別または Web 上で全員に対して行う。			
教科書		有森直子編：母性看護学Ⅱ 周産期各論 医師薬出版株式会社			
参考書・参考文献		・日本カトリック司教団（2017）：いのちへのまなざし 増補新版，カトリック中央協議会，東京。 ・平澤美恵子、村上睦子監修：写真で分かる 母性看護技術，インターメディカ，最新版。 ・荒木奈緒他編：ナースング・グラフィカ 母性看護学 母性看護技術，メディカ出版，最新版。 ・仁志田博司『新生児学入門』医学書院 最新版 ・医学情報科学研究所編：病気が見える 産科、メディックメディア、最新版 ・森臨太郎他：ほんとうに確かなことから考える妊娠・出産の話、医学書院、最新版。 他、講義内容に応じて適宜紹介します			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		＊オフィスアワー：水曜日 12:10～13:10（浅野美智留） ＊学習相談：随時受け付けます。 ＊メッセージ：本科目に関連する、2 年次における「ウイメンズヘルス概論」「母性看護学方法論Ⅰ」の他、既習科目の内容を復習して関心を持って、学びを積み重ねてください。 本科目の学びは、直接、実習に繋がります。一つ一つの学びが、実習において母子と家族へのより善いケア（知と愛に基づく看護の技）に繋がることを目指して、本科目に取り組んでくださることを願っています。 ＊その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 看護過程の展開では、浅野著（共著）「児の母乳吸吮に基づく乳房ケア」を引用しながら、ケアリングや実践的な思考過程が辿れることを目指します。			

開設科目名	母性看護学実習	科目コード	BNSA309	開設期	3年後期～4年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習
責任者	浅野美智留	担当者	浅野美智留、桃井雅子、井口亜由、野口ゆかり、柳本朋子、川上桂子 他		
授業の概要（授業の目的）					
周産期にある女性（母子）と家族を対象に、対象者が自らの力を最大限に発揮しながら、正常な経過をたどるための看護を展開する。また、周産期の女性と家族が、新たな家族を築く過程において、個々の家族の意思や価値観を尊重する姿勢を持ち、家族が本来もつ力を最大限に活かす看護について具体的に考え、実践する力を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
１．周産期にある対象者（母子とその家族）が持つ個別的なニーズを全人的に捉え、アセスメントできる。			◎ １．生命の価値・人間の尊厳 ◎ ３．看護実践知識 ４．論理的・科学的問題発見力 ５．問題解決判断力 ６．コミュニケーションスキル ◎ ８．看護実践技術 ◎ ９．科学的根拠に基づく看護 ◎ 10. ケアリングの実践 11．多様な価値を尊重する姿勢 12．他職種協調・リーダーシップ		
２．周産期にある対象者の正常な心身の適応過程を、的確にアセスメントできる。					
３．周産期に起こりうる正常な適応過程からの逸脱を予測し、的確にアセスメントできる。					
４．上記 1 ～ 3 のアセスメントによって導かれた個別的なニーズに沿って、その人（家族）らしさを尊重したケア、個々の生活やペースに沿ったケア、これらを計画立案・実践、評価できる（適宜、看護計画を変更・修正できる）。					
５．上記 1 ～ 4 の看護過程を展開する上で、以下の①～④視点から考察し、理解を深めることができる。 ①根拠に基づく安全かつ安楽なケア ②母子や家族の持てる力を最大限に活かすケア ③周産期の対象者の意思や価値観を尊重したケア ④周産期における女性と家族のプライバシーに配慮し、護るためのケア、					
６．ケア／ケアリングの考え方にに基づき、対象者の人格の尊厳を尊重し、対象者に思いを寄せ、対象者にとってより善いケアとは何かを考察し探求することができる。 また、ケアを探求する過程においては、他者（臨床指導者、他の学生、教員等）と協力・協働すること、必要に応じて支援を求める等の、適切なコミュニケーションを自ら取ることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） ※遠隔授業の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	詳細は Nursing Clinical Practicum Hand Book 参照	実習	浅野他 ※ 一部遠隔にて実施	ウイメンズヘルス概論、母性看護学Ⅰ・Ⅱの他、当科目に関連する既習科目を復習しておく。	
成績評価方法・基準	①評価表に基づく評価（別紙参照）90%（担当者全員）、 ②課題レポート（実習中に提示）10% （担当者全員）				
課題に対するフィードバック	フィードバックは、実習中ならびに実習終了後の、カンファレンスや個別面談にて行います、				
教科書	当科目に関連する教科書および参考書				
参考書・参考文献	＊受け持ちの方々の状況により、必要な参考書は異なる場合が多々あります。自ら文献を探索したり、人的リソース（学生、教員、図書館司書 他）にアクセスして学習に必要な文献を見つけることにチャレンジしてください。 ＊ウイメンズヘルス概論、母性看護学方法論Ⅰおよび母性看護学方法論Ⅱでご紹介した文献も参考にしてください。				
オフィスワー 学習相談 メッセージ その他	＊オフィスワー：水曜日 16:30～18:00（桃井雅子） ＊学習相談：随時受け付けます。 ＊メッセージ：周産期の母子と家族に向けた“人格の尊厳を尊重する看護ケア”、“個々の持てる力を活かす看護ケア”について、実習を通して深く理解してください。またその際には、皆様方がこれまでに学び、また皆様方に既に賜物として与えられている、他者に関心に寄せること、他者の立場に立ち考えること、他者への思いやりの気持ち、これらを意識して活かし、大切に育みながら実習に臨んでくださることを願っています。 ＊その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 浅野著（共著）「児の母乳吸吮に基づく乳房ケア」を引用しながら実践教育を目指します。 「『体感』活性化マザークラスの実践とその根拠・第 2 報 – 「体感」と「体感」活性化の裏づけー」「キューブラロスの体験における陣痛の表象」の研究成果を使って妊娠期、分娩期の身体経験について実習で出会う現象の理解に取り組みます。				

開設科目名	小児看護学方法論Ⅱ	科目コード	BSNNCP310	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	45 時間	授業区分	講義・演習
責任者	大城知恵	担当者	大城知恵、秋田幸大、河野剛、横地賢興、坂田友、原知子、龍聖子		
授業の概要（授業の目的）					
子どもの検査、処置の特徴を理解し、子どもの権利を尊重した関わりを演習、講義から学ぶ。 健康問題をもつ子どもと家族に対し、ヘルスプロモーションの視点で看護過程を展開する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 主要疾患の障害の病態生理や検査データ、治療の学習をととして、アセスメント、評価の方法、看護のポイントを説明することができる。			◎3.看護実践知識 4.論理的・科学的問題発見力 ◎5.問題解決判断力 8.看護実践技術 ◎9.科学的根拠に基づく看護		
2) さまざまな健康状態や生活環境にある子どもと家族に対して、小児看護を実践するための基礎的な援助技術を習得する。					
3) ロイ適応理論を用いて看護過程を展開し、非効果的行動に対する介入を説明することができる。					
4) 子どもの権利を尊重し、子どもや家族の強みを引き出す看護について考え討議することができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）＊遠隔授業の方法：Teams、一部 Zoom を使用した同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション 子どもの検査・処置：与薬 穿刺 採尿	講義 実技 〈遠隔〉	大城	小児看護学方法論 1 の復習 2.教科書 7 章 1 ～ 3, 9 章 2 ～ 3 を予習	2 時間
2	消化器疾患と看護 経管栄養	講義 〈遠隔〉	大城	2.教科書 3 章 3.教科書 第 9 章 消化器疾患と看護 を予習	2 時間
3	子どもの先天性疾患と発達の支援	講義 〈遠隔〉	原	1.教科書（p331-357), 3.教科書（p2-15）を読んでおく	2 時間
4	子どもの検査・処置：点滴・シネ固定・採血	講義 討議 〈面接〉	原	2.教科書（p160-162,p219-221）を読んでおく。	2 時間
5	子どものがん看護 AYA 世代への看護	講義 〈遠隔〉	坂田	3.教科書 第 10 章 血液・造血器疾患と看護 3.教科書 第 11 章 悪性新生物と看護 を予習	2 時間
6	事例展開	演習 討議 〈遠隔〉	大城 原 龍	急性期～慢性期の疾患について事例を展開 3.教科書の該当疾患項目を使用 他は事例に応じた参考文献を Web Class で提示	2 時間
7					2 時間
8					2 時間
9					2 時間
10	事例展開（発表）				2 時間
11					2 時間
12	子どものバイタルサイン測定に関する看護技術 演習	討議 実技 〈面接〉	原 大城 龍	1.教科書（p410-411） 2.教科書（p204-218）を読んでおく 事前に Web Class のバイタルサイン測定の動画を視聴し、 チェック表を持参する	2 時間
13					2 時間
14	子どもの清潔、排泄の援助	討議 実技 〈面接〉	原	2.教科書（p94-130）を読んでおく	2 時間
15	子どもの安全と疾患、耳鼻咽喉科疾患と看護	講義 〈面接〉	大城	3.教科書 第 17 章 耳鼻咽喉科疾患と看護 3.教科書 第 19 章 事故・外傷と看護 を予習	2 時間
16	呼吸器疾患と看護、川崎病の看護	講義 〈面接〉	秋田	3.教科書 第 7 章 呼吸器疾患と看護 3.教科書 第 8 章 循環器疾患と看護（川崎病のみ） 1.教科書 第 3 章 10 被虐待児と家族の看護 を予習	2 時間
17	免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護	講義 〈面接〉	河野	3.教科書 第 5 章 免疫疾患・アレルギー疾患 リウマチ性疾患と看護 を予習	2 時間

18	感染症と看護・予防接種	講義 〈面接〉	横地	1.教科書 第2章 子どもの成長・発達と看護 (予防接種) 107P～112P 3.教科書 第6章 感染症と看護 を予習	2 時間
19	子どもの尊厳ある死を支える看護	講義 〈遠隔〉	坂田	1.教科書 第3章 4 終末期にある子どもと家族の看護を予習	2 時間
20	事例演習 子どもの権利と適応の促進を看護 自己概念様式に問題のある子どもの看護	演習 討議 〈遠隔〉	大城	4.教科書 第3部 関係のある人々（集団）の適応様式 を予習	2 時間
21	事例演習 子どもの権利と適応への看護 役割機能、相互依存に問題のある子どもの看護	演習 討議 〈遠隔〉	大城	4.教科書 第3部 関係のある人々（集団）の適応様式 を予習	2 時間
22	事例演習 適応に向けたケアの実践	演習 討議 〈遠隔〉	大城 原	4.教科書 第3部 関係のある人々（集団）の適応様式 を予習	2 時間
23	事例演習 適応に向けたケアの実践	演習 討議 〈遠隔〉	大城 原	4.教科書 第3部 関係のある人々（集団）の適応様式 を予習	2 時間
成績評価方法・基準		定期試験 60% 課題レポート・グループワーク・プレゼンテーション 40% 評価者：担当者全員			
課題に対するフィードバック		課題レポートは後日コメントを付し返却する。 グループワークは、プレゼンテーション時にアドバイスをを行い、後日各グループへのコメント返しを Web class に提示する。			
教科書		1.中野綾美編集：ナースング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護 第6版、メディカ出版、2020. 2.中野綾美編集：ナースング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術 第4版、メディカ出版、2020. 3.奈良間美保他：系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学2 医学書院 2020. 4.シスター・カリス・ロイ著：ザ・ロイ適応看護モデル 第2版、医学書院 2014			
参考書・参考文献		筒井真優美 編 『小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア 第8版』 日総研 2017.			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー 大城：金 12：10～13：10（L216 研究室） 原：水 12：10～13：10（L632 研究室） 学習相談は適宜受け付けます。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	小児看護学実習	科目コード	BSNNCP311	開設期	3 年後期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習
責任者	大城知恵	担当者	大城知恵、原知子、龍聖子		
授業の概要（授業の目的）					
子どもと家族のおかれている環境を把握し、成長発達段階に応じたコミュニケーションを獲得する。また、小児看護学の対象者に対し、ロイ適応看護モデルを用い、影響を与えている条件、状況、環境因子、適応のプロセスと問題を明確にし、必要な介入を考察し、子どもの権利を基盤とした援助を学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1）保育所・病棟：子ども成長発達を理解し、子ども・家族とコミュニケーションを図ることができる。				3.看護実践知識 4.論理的・科学的問題発見力 ◎5.問題解決判断力 8.看護実践技術 ◎9.科学的根拠に基づく看護 10.ケアリングの実践 12.他職種協調・リーダーシップ	
2）保育所・病棟：子ども、家族の環境を理解し、事故防止や感染予防に努め、子どもセルフケアを促す支援を実施できる。					
3）病棟　：健康障害を抱える子どもと家族について、行動のアセスメント、刺激のアセスメントから看護問題を考え、説明することができる。					
4）病棟　：子どもと家族の非効果的行動に対し、子どもの権利を踏まえて安全で個性のある援助が実施できる。					
5）保育所・病棟：子どもの成長発達と健康を促すために必要な保育士の役割、看護師や他職種					
の役割をと連携を知り、説明することができる。					
6）学生もチームの一員であることを自覚し、看護専門職としての倫理的行動ができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	1 週目：保育所	実習 ※ 一部遠隔 （Teams）にて実施	大城 原、龍	課題学習の完成	4 時間
				授業の配布資料・教科書の復習	2 時間
	2 週目：病棟	実習 ※ 一部遠隔 （Teams）にて実施	大城 原、龍	課題学習の完成	5 時間
				授業の配布資料・教科書の復習・技術演習	4 時間
成績評価方法・基準		評価方法：評価表に基づく評価 90％　実習課題 1 0％			
課題に対するフィードバック		実習の事前課題や実習中の課題に対し、個別に指導をし、フィードバックを行う。			
教科書		1.中野綾美編集：ナースング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護　第 6 版、メディカ出版、2021. 2.中野綾美編集：ナースング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術　第 4 版、メディカ出版、2021. 3.奈良間美保他：系統看護学講座　小児臨床看護各論　小児看護学 2　医学書院　2020.			
参考書・参考文献		・シスター・カリスト・ロイ著／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル、第 2 版、医学書院、2014. ・鴨下重彦　他監修　子どもの病気の地図帳　講談社、2002. ・石黒彩子/浅野みどり編集：発達段階からみた小児看護過程　医学書院　2017.			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー 大城：金　12：10～13：10（L216 研究室） 原　：水 12：10～13：10（L632 研究室）　龍　：水 12：10～13：10（L632 研究室） メッセージ：インフルエンザ予防接種、その他必要とされる予防接種については流行前の段階で接種を終了し実習に臨んでください。 Web　class に提示している吸入援助の動画や酸素投与についてあらかじめ視聴し病棟実習に臨んでください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。 この科目は「医療安全教育」に関する研究成果を一部参照して実習を行います。			

開設科目名	老年看護学方法論Ⅱ	科目コード	BSNNCP312	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	45 時間	授業区分	講義・演習
責任者	中村和代	担当者	中村 和代, 本田 歩美, 他		
授業の概要（授業の目的）					
高齢者特有の疾病および関連要因についての理解を深め、健康レベルや療養形態に応じた高齢者とその家族に対する看護について学ぶ。また、高齢者が人生の最終段階（エンドオブライフ）としての日々をその人らしく営むことのできるための支援や QOL と尊厳を守るためのケアおよび倫理的課題について考える力を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連		
1. 高齢者に特徴的な健康問題と病態について理解できる			1. 生命の価値・人間の尊厳, ◎3. 看護実践知識, 8. 看護実践技術 9. 科学的根拠に基づく看護		
2. 検査・治療（手術含む）を受ける高齢者の看護について理解できる					
3. 高齢者のアセスメント・総合機能評価(CGA)について理解できる					
4. 疾病を持つ高齢者とその家族の看護について考え表現できる					
5. 高齢者看護における倫理的課題について考え表現できる					
6. 高齢者のエンドオブライフケアとその家族の看護について考え表現できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔の授業方法：Teams, ゲストスピーカーのみ対面					
回	授業内容	方 法	担当者	予習・復習(学修課題)	取組時間
1	ガイダンス・高齢者の看護目標他	講義＜遠隔＞	中村	テキスト①第 3 章,BC ワークブック	1 時間
2	認知症の病態・診断・症状など	講義＜遠隔＞	中村	ワークブックの課題,	2 時間
3	認知症高齢者への薬物療法・非薬物療法ほか	講義＜遠隔＞	中村	テキスト①第 6 章, C	2 時間
4	事例：ユマニチュード・パーソンセンタードケアの視点等	GW＜遠隔＞	中村	テキスト②第 4 章, A	2 時間
5	認知症のある高齢者への施設/急性期病院でのケア	講話＜対面＞	中村	テキスト③第 2 編, 第 1 部	2 時間
6	認知症のある高齢者とその家族へのサポートシステム・施策	講義＜遠隔＞	中村		2 時間
7	パーキンソン病/パーキンソン症候群の病態、症状、治療	講義＜遠隔＞	中村	ワークブックの課題,	2 時間
8	パーキンソン病/パーキンソン症候群がある高齢者の看護	講義＜遠隔＞	中村	テキスト①第 6 章, B, ②第 4 章 B	2 時間
9	高齢者のアセスメント・総合機能評価(CGA)	講義＜遠隔＞	本田	テキスト①第 4 章, A,B、②第 3 章, F. ワー	1 時間
10	総合機能評価の実際：精神・認知/身体機能評価	演習＜遠隔＞	本田	クブックの課題,「健康長寿診療ハンドブック」	1 時間
11	検査・治療を受ける高齢者の看護	講義＜遠隔＞	本田	ワークブックの課題	2 時間
12	検査・治療(薬物/手術療法他)を受ける高齢者の看護	GW＜遠隔＞	本田	テキスト①第 7 章,③第 2 編, 第 1 部	2 時間
13	高齢者に特徴的な感染症と看護	講義＜遠隔＞	本田	ワークブックの課題, テキスト①第 7 章,②第	2 時間
14	高齢者に多い感染症と看護	GW＜遠隔＞	本田	5 章	2 時間
15	高齢者に特徴的な感染症と看護	講義＜遠隔＞	本田		2 時間
16	COPD の病態、症状、治療、COPD をもつ高齢者の看護	講義＜遠隔＞	本田	テキスト①第 6 章 B, ②第 4 章 D	2 時間
17	脳血管疾患の病態・治療・看護の特徴など	講義＜遠隔＞	中村	ワークブックの課題	2 時間
18	脳血管疾患を持つ高齢者の看護：事例のアセスメント	GW＜遠隔＞	中村	テキスト①第 6 章,B	2 時間
19	事例について関連図作成～看護計画立案	GW＜遠隔＞	中村	テキスト②第 4 章, B, 第 6 章, B	2 時間
20	脳血管疾患疾患を持つ高齢者の看護：まとめ	講義＜遠隔＞	中村	テキスト③第 2 編, 第 1 部	2 時間
21	高齢者のエンドオブライフの特徴と看護師の役割	講義＜遠隔＞	中村	ワークブックの課題	2 時間
22	高齢者やその家族の意思決定支援について（事例検討）	GW＜遠隔＞	中村	テキスト①第 8 章	2 時間
23	高齢者のエンドオブライフケアとその家族の看護	講義＜遠隔＞	中村	テキスト②終章	1 時間
評価方法・基準	ワークブック課題:50%, 試験（対面または Web）:40%, 授業への参加姿勢・演習態度:10% （評価者：中村・本田） 授業の出席確認は、毎回、Teams 入室と Forms 回答状況で行います。				
課題に対するフィードバック	ワークブックは採点后、返却します。単元終了毎にルーブリック自己評価をして頂きます。				
教科書	① 北川公子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 ② 鳥羽研二他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論」医学書院 ③ 山田律子他「生活機能からみた老年看護過程」第 3 版 医学書院 ④ NANDA-1 看護診断定義と分類 医学書院				

参考書・参考文献	・日本老年医学会編集, 改訂版「健康長寿診療ハンドブック」2020. (2011 年版 インターネット公開) ・コミュニケーション入門, 本田美和子, イブ・ジネスト, ロゼット・マレスコッティ著, 2014, 医学書院 ・認知症になっても人生は終わらない 認知症の私が、認知症のあなたに贈ることば, 認知症の私達 著, 2017, (株)harunosora ・認知症と共に生きる私: 「絶望」を「希望」に変えた 20 年, クリスティーン・プライデン (著) 馬籠久美子 (訳), 2017, 大月書店
ワイアワー 学修相談 メッセージ その他	中村和代 (6 号館 2 階 625 研究室、内線 0217) 、Office365 メール利用も可 オフィスアワー: 登校日の放課後～1 時間, 事前にメール予約のこと 学修相談は随時受け付けます。 ワークブックを予習・復習に活用し、グループワークにも主体的に参加し学習を深めていきましょう。 * ICT の活用: 参考資料は適宜 Teams フォルダ内に講義資料を掲示します。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 第 9 回目では、『高齢者の周辺症状と家族の負担』について研究成果の一部を用いて講義を展開します。 第 22 回では、「家族を対象に延命医療に関する意思決定支援演習を体験」に関する研究成果を一部ご紹介します。

開設科目名	老年看護学実習	科目コード	BSNNCP313	開設期	3 年後期～4 年前期
単位数（履修区分）	4 単位（必修）	時間数	180 時間	授業区分	実習
責任者	中村和代	担当者	中村和代、本田 歩美 他		
授業の概要（授業の目的）					
老年看護学および関連科目で学んだ知識・技術を基盤とし、加齢に伴う心身の変化や疾患および障害のある高齢者を対象に、対象者やその家族にとってのより良い生活(QOL)を支援するための看護について実習を通して学ぶ。さらに、最期までその人らしく生きるための最善の医療・最善のケアについて倫理的観点も含めて探求する姿勢を養う。また、他職種との連携や看護師の役割についても理解を深める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 加齢に伴う心身の変化について理解し健康障害との関連を説明できる			1.生命の価値・人間の尊厳 2.豊かな人間性の基礎 3.看護実践知識 5.問題解決判断力, ◎10.ケアリングの実践 11.多様な価値を尊重する姿勢 12.他職種協同リーダーシップ 14.看護学発展への主体的探求姿勢		
2) 健康障害が高齢者の日常生活動作、生活機能に及ぼす影響について説明できる					
3) 高齢者やその家族への倫理的配慮や倫理的課題について考えることができる					
4) 担当患者の看護展開を通して実践的な看護方法を身につける					
5) 保健、医療、福祉の各専門職の役割と連携および看護職の役割について説明できる					
6) 施設利用者（入所および通所）の生活上の課題や支援方法について考察できる					
7) 施設入所者の看護および QOL を維持・向上させるためのケアが実施できる					
8) 高齢者の看護に関心を持ち、問題解決や看護を探求する姿勢を身につける					
9) 実習を通して高齢者看護観を養い表現できる					
10)実習を通しての学修の成果と今後の課題について表現できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
	老年看護学実習 A（90 時間）	一部、学内および遠隔(Teams)にて実施	中村 本田 他	実習開始前までに、事前学習する	2 時間
	期間：2 週間（月～金）			老年看護学概論・方法論Ⅰ・Ⅱの復習	
	場所：ヘルスケアセンター5 階または同 7 階			看護過程の展開に関する取り組み	毎日 1 時間
	老年看護学実習 B（90 時間）				
	期間：2 週間（月～金）			日々の実習の振り返り・考察	毎日 1 時間
	場所：介護老人保健施設 聖母の家				
	詳細は、実習ハンドブックを参照する				
成績評価方法・基準		老年看護学実習 A/B 評価表に基づく評価 100%（評価者：科目責任者・実習担当者）			
課題に対するフィードバック		随時、対面指導、日々の実習記録へのコメント、およびカンファレンスなどでフィードバックいたします			
教科書		・北川公子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 ・鳥羽研二他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論」医学書院 ・山田律子他「生活機能からみた老年看護過程」第 1 版 医学書院 ・NANDA-1 看護診断定義と分類 医学書院			
参考書・参考文献		・奥宮暁子 ウェルネスの視点に基づく老年看護過程 医歯薬出版 2019. ・バーニー・アリゴ,他 回想法アクティビティハンドブック すひか書房 2018. ・鈴木みずえ 認知症の看護・介護に役立つよくわかるパーソン・センタード・ケア 池田書店 2017.			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：毎週（月）16:30-17:30, 学習相談は随時受け付けます。 中村 和代（6 号館 2 階 625 研究室、内線 217）, Office365 のメールの利用も可 ＊ICT の活用：遠隔実習では Teams を利用します。参考資料は WebClass 内にアップロードしています。 老年看護学概論ワークシート、老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱで使ったワークブックをご活用ください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	エンドオブライフケア	科目コード	BSNNCP314	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	井手 信	担当者	井手信、竹熊千晶、高木慶子、大山悟、		
授業の概要（授業の目的）					
終末期にある患者の身体的、心理社会的、精神的、スピリチュアルな苦痛について理解し、患者への全人的ケアの必要性を理解する。その上で各患者の価値観や生き方を尊重したケアについて学修するとともに、家族ケアや遺族ケアについて学修する。さらに緩和ケアに関わる他職種や在宅ホスピスを提供する機関との連携を理解し、個人を尊重した人生を送るためのケアの実践について学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) エンドオブライフにある人の身体的変化を説明できる。			1. 生命の価値・人間の尊厳		
2) 疼痛のアセスメント及びコントロールの方法について理解し、疼痛緩和のトータルケアを説明できる。			2 豊かな人間性		
3) 多様な疾患をもつ人への緩和ケアについて説明できる。			4. 論理的・科学的・問題発見力		
4) エンドオブライフにある人の尊厳を尊重した心理的・霊的/司牧的ケアについて説明できる。			5. 問題解決判断力		
5) エンドオブライフに関連する臨床倫理について説明できる。			8. 看護実践の基本的技術		
6) 多様な場での看護としての在宅ホスピスケアと多職種連携について説明できる。			10 ケアリングの実践		
7) 死の受容プロセスに応じた家族の精神的ケアと、遺族ケアについて説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業時の方法：zoom による同時双方向授業					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	終末期患者の尊厳と全人的ケア	講義 ＜遠隔＞	井手	教科書 第 1 章を読んでおく	2 時間
2	がん患者の身体症状への緩和ケア、疼痛コントロール他	講義 ＜遠隔＞	井手	教科書 第 2 章を読んでおく	4 時間
3	多様な疾患を持つ人への緩和ケアの実践	講義 ＜遠隔＞	井手	教科書 第 11 章を読んでおく	4 時間
4	ホームホスピスでの看護の実践、看取りのケア	講義 ＜遠隔＞	竹熊	教科書 第 8 , 9 章を読んでおく	4 時間
5	ホームホスピスでの地域連携と多職種連携	講義 ＜遠隔＞	竹熊	教科書 第 11 章を読んでおく	4 時間
6	終末期患者へのケア 悲嘆のプロセスと希望へのステップ	講義 ＜遠隔＞	高木	教科書 第 3 , 4 , 5 , 6 , 9 章を読んでおく	4 時間
7	家族ケアとグリーフケア	講義 ＜遠隔＞	高木	教科書 第 3 , 4 , 5 , 6 , 9,章を読んでおく	4 時間
8	終末期患者への心理的・霊的・司牧的ケア	講義 ＜遠隔＞	大山	教科書 第 3 , 4 , 5 章を読んでおく	4 時間
成績評価方法・基準		① 授業外レポート 50% ②授業内レポート等 50% 合計 100 点（井手 信）			
課題に対するフィードバック		上記課題については、講義中にフィードバックを行います			
教科書		ナーシンググラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア MC メディカ出版			
参考書・参考文献		日本カトリック司教団 いのちへのまなざし カトリック中央協議会、エリザベス・ジョンストン・テイラー スピリチュアルケア 医学書院 梅田恵・的場典子 緩和ケア 南江堂 2018			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		井手 信 オフィスアワー：水曜日 16：30－17：30 メッセージ：多様な場におけるエンドオブライフケアについて考えてみましょう。 メッセージ：この科目は主に教職にあり、またエンドオブライフケアの実践家でもある外部講師の方々が教授する科目です。 これから皆さんは臨床の現場では多様なクリティカル領域あるいは超高齢社会を反映した終末期にある方々に遭遇しますので、しっかり学んでください。			

開設科目名	在宅看護学方法論	科目コード	BSNANS301	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	橋口ちどり	担当者	橋口ちどり、渋江暁春、野上裕子		
授業の概要（授業の目的）					
退院支援や在宅看護過程展開の演習を通して、社会資源の活用と在宅における支援のあり方を探索的に学修し、ケアマネジメントや継続看護の視点を養う。また、他職種への理解を深め、在宅ケアにおけるチームアプローチと看護職としてのリーダーシップを学ぶ。さらに地域包括ケアシステムの一部としての在宅ケアシステムにおける地域の社会資源の有機的連携を理解し、新たな資源の開発に対する看護師の役割を考察する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
退院支援について説明できる。			◎4 論理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力 ◎8 看護実践技術		
退院支援計画立案を通して、社会資源について文献等を用いて調べることができる。					
ロイ適応看護モデルを用いて、訪問看護場面におけるアセスメントができる。					
グループワークに参加し、在宅チームアプローチにおける看護師の役割について考察できる。					
地域包括ケアシステムの構築と看護職の役割について考察し、自分の考えを記述できる。					
在宅看護学実習に向けた準備ができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※Teams による講義、グループワーク					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション演習の進め方	講義〈遠隔〉	橋口	在宅看護学概論を復習しておく	1 時間
2	退院支援計画について	講義〈遠隔〉	橋口	在宅看護学概論を復習しておく	1 時間
3	退院支援計画立案グループワーク① 病態と生活のアセスメント	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	Teams によるグループ課題	1 時間
4	退院支援計画立案グループワーク② 家族のアセスメント	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	Teams によるグループ課題	1 時間
5	退院支援計画立案グループワーク③ 経済的視点と社会資源	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	Teams によるグループ課題	1 時間
6	退院支援計画発表とディスカッション	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	他グループからのコメントを踏まえた成果物の修正	1 時間
7	在宅看護学におけるロイ適応看護モデル	講義〈遠隔〉	橋口	ロイ適応看護モデルを復習しておく	1 時間
8	訪問看護計画立案グループワーク①	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	Teams によるグループ課題	1 時間
9	訪問看護計画立案グループワーク②	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	グループ学修成果発表の準備	1 時間
10	訪問看護計画発表とディスカッション	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	他グループからのコメントを踏まえた成果物の修正	1 時間
11	多職種連携とリーダーシップについて	講義〈遠隔〉	渋江	教科書 P104～109 を読んでおく	1 時間
12	多職種連携とリーダーシップのグループワーク	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	Teams によるグループ課題	1 時間
13	多職種連携についての発表	演習〈遠隔〉	橋口・渋江・野上	他グループからのコメントを踏まえた成果物の修正	1 時間
14	訪問看護の実際	講義〈遠隔〉	ゲスト	課題レポートの作成	1 時間
15	家庭訪問時の留意点	講義〈遠隔〉	野上	教科書 P410～414 を予習しておく	1 時間
成績評価方法・基準	最終レポート、立案した退院支援計画書、訪問看護計画書、課題レポート、学修態度（各 20％）で評価します。課外の自己学修は webclass への投稿でアピールしてください。レポートは提示された課題にそって作成して webclass で提出してください。 評価者（橋口ちどり）				
課題に対するフィードバック	講義や GW 中の疑問や質問に対して、その都度コメントを行います。				
教科書	・秋山正子他：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 第 5 版 医学書院 2021 ・厚生統計協会：国民衛生の動向 2020/2021				
参考書・参考文献	・ロイ適応看護モデル第 2 班 医学書院				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	橋口ちどり オフィスアワー（火）16：00～17：00 7 号館 744 室（内線 744） 本科目では、在宅療養を支える社会資源の知識、グループに対する協力姿勢、能動的な学修態度、社会的な対応能力を以て在宅看護学実習が行える力を養うことを重視します。評価基準をクリアしない場合は、在宅看護学実習を履修することはできません。 Teams によるグループワーク中の質問は、教員の巡回時に解決してください。レポートの書き方の個別指導を希望する場合は、office365 のメールでアポイントをとってください。 hashiguchi@stmaryacjp.onmicrosoft.com その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	在宅看護学実習	科目コード	BSNANS302	開設期	3 年後期、4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	90 時間	授業区分	実習
責任者	橋口ちどり	担当者	橋口ちどり、渋江暁春、野上裕子		
授業の概要（授業の目的）					
在宅看護学で学んだ知識・技術を基盤とし、在宅で療養する利用者および家族を対象に、病態や障害の視点から医学的管理や生活ニーズをアセスメントし、看護介入について学ぶ。また、在宅療養を支えるサービス機関と他職種を理解し、多職種連携について学ぶ。さらに、入院中からの継続看護と在宅ケアシステムの理解から、地域包括ケアシステムを考察する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1.実習する機関の、在宅ケアにおける役割と特性を述べることができる。				◎8 看護実践技術 ◎10 ケアリングの実践 11 多様な価値を尊重する姿勢 12 他職種協調リーダーシップ	
2.病態や障害の視点から生活ニーズをとらえ、ケアが実践できる。					
3.家族も含めた支援のありかたを考えることができる。					
4.看護の視点からケアマネジメント機能を考えることができる。					
5.在宅ケアを支える他職種を理解し、チームアプローチと看護職の役割を考えることができる。					
6.利用者やその家族への倫理的配慮や権利保障について考えることができる					
7.入院中からの継続看護や在宅ケアシステムの必要性について考えることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション（学内）情報収集と実習準備	実習	橋口・渋江・野上	提示された課題を学習し、訪問看護制度について、オリエンテーション時に口頭試問を受ける	1 時間
2	訪問看護ステーション（1 日目）	実習	橋口・渋江・野上	事前に提示された在宅医療や対象者の理解を予習しておく	1 時間
3	訪問看護ステーション（2 日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、病態や制度を調べる	1 時間
4	訪問看護ステーション（3 日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、看護アセスメントを考える	1 時間
5	訪問看護ステーション（4 日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、看護介入計画を考える	1 時間
6	居宅介護支援事業者または通所サービス事業者（1 日目）	実習	橋口・渋江・野上	介護保険サービスを復習しておく	1 時間
7	居宅介護支援事業者または通所サービス事業者（2 日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、病態や制度を調べる	1 時間
8	居宅介護支援事業者または通所サービス事業者（3 日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、病態や制度を調べる	1 時間
9	居宅介護支援事業者または通所サービス事業者（4 日目）	実習	橋口・渋江・野上	事例を通して、病態や制度を調べる	1 時間
10	実習のまとめ（学内）	実習	橋口・渋江・野上	実習で感じたこと、気づいたことをパワーポイントにまとめる 筆記テストを受け、解けなかった問題を復習する	1 時間
成績評価方法・基準		評価表に基づく思考・技術および実習態度の評価（個人レポート課題を含む）70% 事前学修の口頭試問と、実習を踏まえた最終日の筆記試験を実施し、知識を確認 30%（評価者：橋口ちどり）			
課題に対するフィードバック		実習のまとめの後、知識確認テストを行い、個人的にフィードバックします。			
教科書		秋山正子他：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 第 5 版 医学書院 2021 厚生統計協会：国民衛生の動向 2020/2021			
参考書・参考文献		ザ・ロイ適応看護モデル 第 2 版 医学書院 在宅看護学概論、在宅看護学方法論で配布した講義資料			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		橋口ちどり オフィスアワー（火）16：00～17：00 7 号館 744 室（内線 744） hashiguchi@stmariacjp.onmicrosoft.com 在宅看護学概論・在宅看護学方法論で学んだことを、実習を通して理解をつなげてください。 講義で学習した内容、指示された課題の自己学習を行い、理解ができているかをオリエンテーション時に口頭試問します。事前学修をしていない者は実習準備ができていないとみなし、実習の履修はできません。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	健康危機管理論	科目コード	BSNANS303	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	渋江暁春	担当者	渋江暁春、眞崎直子、野上裕子		
授業の概要（授業の目的）					
食中毒、感染症、医薬品ならびに大震災や大量殺傷テロ事件などによって生じる地域住民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して、保健所、市町村における公衆衛生看護の役割と、健康危機管理業務の一連の流れを学ぶ。また、職域・学校・病院との連携の必要性と連携体制づくりを学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 健康危機管理の理念と目的、制度とシステムが説明できる。			◎ 3 看護実践知識 ◎ 5 問題解決判断力 8 看護実践技術 ◎ 13 地域国際社会への貢献		
2. 感染症の動向や感染症に対する地域保健活動を理解できる。					
3. 児童・高齢者虐待に係わる現状と保健活動が理解できる。					
4. 母子を対象とした福祉施設とその特性や関係機関との連携について理解できる。					
4. 災害における定義や保健活動が説明でき、今後の課題について理解できる。					
5. 保健所における健康危機管理（特に放射線災害）における役割について理解できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） 遠隔授業の方法：TEAMS による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康危機管理の定義と現状	講義 ＜遠隔＞	渋江	教科書：健康危機管理を読んでおくこと。	4 時間
2	健康危機管理システムと保健所の役割	講義 ＜遠隔＞	渋江	健康危機管理と保健所の役割等に係わる文献を読んでおくこと	4 時間
3	感染症の動向及び調査	講義 ＜遠隔＞	渋江	講義終了時に指示する。	4 時間
4	感染症に対する地域保健活動の実際 積極的疫学調査（コロナ・結核等）	講義 ＜遠隔＞	渋江	講義終了時に指示する。	4 時間
5	児童虐待に係わる現状と保健活動 母子を対象とした福祉施設との連携	講義 ＜遠隔＞	野上	児童虐待、母子を対象とした福祉施設に係わる文献を読んでおくこと	4 時間
6	高齢者虐待に係わる現状と保健活動	講義 ＜遠隔＞	野上	高齢者虐待に係わる文献を読んでおくこと	4 時間
7	災害の定義及び災害保健活動	講義 ＜面接＞	ゲスト	災害復旧や復興等に係わる文献を読んでおくこと	4 時間
8	災害復旧・復興期の保健活動と今後の課題 被災状況や放射線災害が及ぼす健康影響について	講義 ＜遠隔＞	眞崎	講義終了時に指示する。	4 時間
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式）80％（渋江） 課題レポート 20％（担当者全員）				
課題に対するフィードバック	フィードバック：webclass 上で提出してもらい、課題にはコメントを付けて返却する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j p：インターメディカル ・国民衛生の動向：厚生統計協会				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	office365 のメールでアポイントを取って下さい。質問はメールでも受け付けます。 渋江暁春 オフィスアワー：月曜日 12：10～13：10、その他在室時 shibue@stmaryacjp.onmicrosoft.com 眞崎直子 オフィスアワー：月曜日 12：10～13：10、その他在室時 masaki@stmaryacjp.onmicrosoft.com 野上裕子 オフィスアワー：月曜日 12：10～13：10、その他在室時 nogami@stmaryacjp.onmicrosoft.com その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	個人・家族援助論Ⅰ	科目コード	BSNANS304	開設期	3年前期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	渋江暁春	担当者	渋江暁春 眞崎直子 野上裕子		
授業の概要（授業の目的）					
家族の機能や家族看護の理論について理解し、対象の援助ニーズに応じた家族保健指導および家庭訪問技術を学ぶ。さらに、家庭訪問・健康相談から保健師活動とケアシステム構築について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 保健指導の概念と理論を理解する			◎ 3 看護実践知識		
2. 家族の概念及び理論について理解する。			4 論理的・科学的問題発見力		
3. 家庭訪問の意義および一連の展開方法及び技術について理解する。			◎ 5 問題解決判断力		
4. 健康相談や健康診査における保健指導について理解する			◎ 8 看護実践技術		
5. 家庭訪問・健康相談からのケアシステムの構築について理解する。			9 科学的根拠に基づく看護		
			12 他職種協調、リーダーシップ		
			13 地域国際社会への貢献		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） 遠隔授業の方法：TEAMS による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者		取組時間
1	保健指導と理論について 保健指導の目的・対象・特徴・指導方法 保健行動に関する理論（健康信念モデル・行動変容ステージモデル・社会的学習理論）	講義 ＜遠隔＞	渋江	教科書保健指導と理論について予習・復習	4時間
2	家庭訪問の目的・対象・技術・法的根拠・プロセス	講義 ＜遠隔＞	渋江	教科書家庭訪問（目的・対象）について予習・復習	4時間
3	家族看護と理論について	講義 ＜遠隔＞	野上	教科書家族看護について予習・復習	4時間
4	家庭訪問の援助目標について	講義 ＜遠隔＞	野上	教科書家庭訪問について予習・復習	4時間
5	地域包括ケアシステムの構築 理念・目的・構築方法・システムの評価と改善	講義 ＜遠隔＞	渋江	教科書ケアシステムについて予習・復習	4時間
6	健康相談	講義 ＜遠隔＞	眞崎	教科書健康相談について予習・復習	4時間
7	健康診査	講義 ＜遠隔＞	眞崎	教科書健康診査について予習・復習	4時間
8	家庭訪問におけるコミュニケーション技術 （情報の収集と整理・信頼関係の構築）	講義 演習 ＜遠隔＞	渋江 眞崎 野上	教科書コミュニケーション技術について予習・復習	4時間
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式）60%（渋江） ・ 演習課題結果 40%（担当者全員）				
課題に対するフィードバック	演習時にフィードバック				
教科書	・荒賀直子他：公衆衛生看護学、JP インターメディカル 2020				
参考書・参考文献	・村嶋幸代編集『最新保健学講座第2巻公衆衛生看護支援技術』メヂカルフレンド社 ・鈴木和子他『家族看護学 理論と実践』日本看護協会出版会 2019 第5版				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	渋江 暁春（6号館2階624研究室）、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 自分の身近な家族の関わりを捉え、地域社会の中での家族の現象について観察してみましょう。プチ演習を通して体験しますので、積極的に取り組んでください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	産業保健	科目コード	BSNANS305	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子、富松敦之、田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
成人の健康支援であるセルフケア能力の向上を目的とし、労働者の健康保持増進を基軸に産業看護の理念と活動の基本的な知識と方法を学ぶ。また、働く人々の健康ニーズや健康問題を理解し、組織的な健康支援の方法について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）産業保健の定義、目的を捉え、産業看護の意義、役割について理解することができる。			◎ 3 看護実践知識◎ 4 論理的・科学的問題発見力◎ 5 問題解決判断力		
2）わが国の産業保健の現状を把握し、産業保健の制度やシステムについて理解することができる					
3）労働者を取りまく環境と健康問題の特性を把握し、予防および援助方法を理解することができる					
4）産業看護活動の展開について理解し、産業看護活動の将来的な展望を考察することができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）遠隔授業の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	産業保健の理念と産業看護の目的、歴史的経緯	講義＜遠隔＞	眞崎	公衆衛生看護学 Jp のテキスト「産業保健の概念」を読んでおく	4 時間
2	産業保健の制度とシステム （労働安全衛生関係法規・制度、組織人材など）	講義＜遠隔＞	眞崎	労働衛生のしおりを読んでおく 授業内容の復習	4 時間
3	産業看護活動の実際（産業保健計画、健康診断、職場巡視）	講義＜遠隔＞	田中	公衆衛生看護学 Jp のテキスト「産業保健」を読んでおく 授業内容の復習	4 時間
4	産業看護活動の実際と課題	講義＜遠隔＞	ゲストスピーカー	授業内容の復習	4 時間
5	産業医の役割と活動	講義＜遠隔＞	富松	授業内容の復習	4 時間
6	健康診断と事後措置	講義＜遠隔＞	富松	授業内容の復習	4 時間
7	労働者の職業性疾病と疾病管理、予防対策	講義＜遠隔＞	富松	授業内容の復習	4 時間
8	労働者のメンタルヘルスと健康づくり	講義＜遠隔＞	富松	授業内容の復習	4 時間
成績評価方法・基準	定期試験：50%（富松）、授業内演習課題レポート：50%（眞崎）				
課題に対するフィードバック	フィードバック：出題意図を説明する。課題レポートは発表時コメントし、レポートにはコメントをつけて返却する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j P：インターメディカル・労働衛生のしおり：中央労働災害防止協会・厚生統計協会『国民衛生の動向』				
参考書・参考文献	・公衆衛生看護学演習・実習：クオリティケア				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子（7 号館 2 階 722 研究室） 火曜日 12：10～13：10、その他在室時 masaki@stmaryacjp.onmicrosoft.com 富松敦之（非常勤）： 授業終了後、教室で質問を受け付けます。 保健師免許取得後、申請により衛生管理者 1 種免許状が得られますので、産業保健、産業看護基礎について学習しましょう。 質問もメールで受け付けます。 ＊ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他：この科目は保健師や医師として実務経験を有する教員が産業保健について教授する科目です				

開設科目名	学校保健	科目コード	BSNANS306	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子 青木一枝 田中貴子		
授業の概要（授業の目的）					
学校教育における現状と課題について理解し、学校保健(安全)の理念と保健(安全)活動に必要な知識、方法について学ぶ。 更に、今日の「社会に開かれた教育課程」の下で学ぶ子供たちの健康教育（学校保健、学校安全、学校給食の 3 領域）は各種法規に則った学校保健制度や組織活動・組織体制で成立していることの実態を学校保健の領域・内容を通して学ぶ。中でも保健教育内容の保健学習が関連教科に用語の変更がなされていることにも注目させる。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）学校教育においては、新学習指導要領を踏まえ、学校保健（安全）の意義、目的、構造、法規との関連を理解できる。			◎ 3 看護実践知識		
2）各種通知文等を通して「現代的健康課題解決を抱える子供たちへの支援」には養護教諭の役割が一層期待されていることを理解できる。			◎ 4 論理的・科学的問題発見力		
3）いじめ・虐待等の子供たちの問題解決には、家庭、地域の医療機関や関係機関との連携が必須であることが理解できる。（「チームとしての学校」として外部の専門家との連携が重要）			◎ 5 問題解決判断力		
4）具体的な資料等によって、ライフサイクルの中でも学校保健の重要性（がん教育等）に興味関心を持ち、生涯保健への更なる展望を図ることができる。			8 看護実践技術		
			9 科学的根拠に基づく看護		
			1 2 他職種協調リーダーシップ		
			1 3 地域国際社会への貢献		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） 遠隔授業の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	学校教育と学校保健（安全）の関連（学習指導要領、学校保健の意義と構造、）学校保健の歴史と養護教諭	講義<遠隔>	青木	あなたが抱えている養護教諭像について発表できるようにしておく	4 時間
2	・学校経営と保健室経営、保健室経営の構造（作成手順等、自己、自己評価、保健室登校） ・学校環境衛生の実態（目的と法的根拠） ・学校保健経営と人権（インクルーシブ教育）	講義<遠隔>	青木	保健室登校とは、何か。これまでの小中高の学校生活での経験を発表できるようにしておく。	4 時間
3	・ヘルスプロモーションの概念と歴史、国民健康づくり運動 ・学校保健安全の組織活動（学校保健委員会） ・食育と学校給食（食育基本法、学校給食法等）	講義<遠隔>	青木	朝食の必要性について発表できるようにしておく	4 時間
4	子どもの発育発達と学校保健、子どもの発育発達の今日的課題、学校保健活動と教職員の役割（健康観察と健康診断）メンタルヘルス、定期健康診断の変更点その他	講義<遠隔>	青木	定期健康診断に、運動器の検診が導入されたのはなぜか？調べておく。	4 時間
5	学校保健活動と教職員の役割（健康相談、保健教育）いじめ問題、虐待、飲酒、喫煙、薬物乱用問題、自殺、不登校	講義<遠隔>	青木	薬物乱用問題等に関する記事等を発表できるようにしておく。	4 時間
6	感染症（学校感染症、新興、再興感染症）予防接種法等慢性疾患の管理（学校生活管理指導表）食物アレルギー対策、特別支援教育（LD,ADHD,,自閉症スペクトラム）医療的ケア	講義<遠隔>	青木	・通級とは、何か調べておく。 ・「医師法第 17 条」とは何か調べておく。	4 時間
7	学校安全と学校の危機管理、法的根拠(危機管理マニュアル)災害後に現れる心身症状（PTSD）学校における救急処置	講義<遠隔>	青木	「アンバーサリー反応とは何か」答えることができる。ボランティアの経験はあるか。	4 時間
8	学校保健における健康教育 食育、感染症予防、性感染症予防等)	講義演習 <遠隔>	眞崎 田中	健康教育の必要性について述べるができるように考えをまとめておく。	4 時間
成績評価方法・基準		筆記試験 50%（青木）、授業外レポート 50%（眞崎）			
課題に対するフィードバック		・課題の出題意図の説明（国家試験に出るような学校保健の内容）を講義中に行う。 ・講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスをを行う。			
教科書		自作の PP を使用するためテキストは使用しない。（青木）、公衆衛生看護学。JP：インターメディカル、国民衛生動向（眞崎）			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		眞崎直子（7 号館 2 階 722 研究室） 火曜日 12：10～13：10、その他在室時 青木一枝（非常勤） 授業終了後、教室で質問を受け付けます できるだけ、新しい統計資料や新聞記事等で自作の PP を作成します。日頃より、学校保健に関するニュースや記事に注目し、興味関心をもって授業に臨んで欲しいと思います。 ＊ ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他：この科目は養護教諭として実務経験を有する教員が学校保健について教授する科目です			

開設科目名	国際看護論Ⅱ	科目コード	BSNANS307	開設期	3年前期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
日本国内外の国際保健医療問題に直面する人々への看護を考え、特に開発途状国における健康問題と保健医療の状況を学修し、実施可能な看護活動を考えることを目指す。加えて、先進諸国における保健医療問題を概観する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、世界の健康問題と保健医療の状況を説明できる			◎ 4.論理的・科学的問題発見力、 5.問題解決判断力、 ◎ 11.多様な価値を尊重する姿勢、 12.他職種協調リーダーシップ、 ◎ 13.地域国際社会への貢献、		
2、世界における富の不均衡な配分、また一国の中でも大きな格差があることを理解することができる					
3、経済の不均衡や不十分な教育が人々の健康に影響を及ぼすことを理解することができる					
4、世界の国々が健康状況改善のために取り組んでいる活動を説明できる					
5、人間の尊厳をふまえながら、場所・時・実現可能性を考慮した看護を考えることができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業時の方法：zoom による同時双方向授業					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	世界の国々にみられる富の不均衡な配分と健康問題	講義 <対面>	秦野	国際看護論Ⅰを復習しておく	予習 1 時間、 復習 1 時間
2	国のシステムや制度が人々の健康に与える影響	講義 <遠隔>	秦野	日本の国民皆保険制度を復習しておく	予習 3 時間、 復習 1 時間
3	開発途上国における母子保健、その現状と課題	講義 <遠隔>	秦野	日本の母子保健の状況（制度、妊産婦死亡率、乳幼児死亡率、など）を調べておく。国際看護論で学修した世界の母子保健の現状を復習する	予習 3 時間、 復習 1 時間
4	感染症と看護	講義 <遠隔>	秦野	結核、エイズ、マラリア、それぞれがどういう疾患であるか復習しておく	予習 3 時間、 復習 1 時間
5	災害や紛争などが人々の健康に及ぼす問題を考える	講義 <対面>	秦野	現在発生している紛争地域の人々の健康状況を、入手できる情報から調べておく。	予習 3 時間、 復習 1 時間
6	難民や国内避難民になるとはどうか、考える	講義 <対面>	秦野	世界の難民、国内避難民など、移動を余儀なくされた人々の数、状況を、UNHCR をはじめとする関係機関で調べておく	予習 3 時間、 復習 1 時間
7	持続可能な開発目標と看護が貢献できること	講義 <遠隔>	秦野	持続可能な開発目標の健康に関する目標、それらのターゲットにはどのようなものがあるのか調べておく	予習 3 時間、 復習 1 時間
8	学生による発表会（内容は初回に提示）	講義 <対面>	秦野	プレゼンテーションの準備	予習 3 時間、 復習 1 時間
成績評価方法・基準	第 8 回のプレゼンテーション 50% 事前学習・期末課題（レポート作成）50%（評価者 秦野）				
課題に対するフィードバック	課題に対するフィードバックは、teams の国際看護論Ⅱのチームを活用し行う				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	田村やよひ編：新体系 看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学 メジカルフレンド社 2020				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	秦野環 研究室 2 号館 1 階、214 研究室 火曜日、12 時 10 分～13 時 10 分、 その他は事前にメールで連絡ください（office 365） その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 授業第 5、6 回においては、「緊急流入が難民定住地の長期滞在女性難民に及ぼした影響 ウガンダ難民定住地での調査報告、その 1」の結果を一部参照しながら授業を行います				

開設科目名	フィールドスタディⅠ (フィリピン)	科目コード	BSNANS308	開設期	3 年または 4 年前期
単位数 (履修区分)	2 単位 (自由)	時間数	9 0 時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要 (授業の目的)					
人種、宗教、文化、生活集団など普段の自身の生活とは異なる場に身を置いて、人間的価値、信仰、愛、能力を相互に分ち合うことなどを通して、『人間の尊厳』や『いのちに奉仕する意味』を学ぶ。同時に今後看護学の学びを深めるにあたり、常に世界の人々の健康を意識できるきっかけづくりを行う					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、キリシタンの歴史を通じ、日本とフィリピンの交わりを説明できる			◎ 6.コミュニケーションスキル		
2、フィリピンにおける保健医療の現状を理解することができる			9.科学的根拠に基づく看護		
3、ボランティア活動を通して、協力すること、協同することを学修する			10. ケアリングの実践		
4、さまざまな状況、特に厳しい経済状況の中で懸命に生きる人々との出会いを通して、「生きる」とはどういうことなのか、「幸福とは何か」を仲間と考え、考えを共有できる。			11.多様な価値を尊重する姿勢、		
5、プライマリヘルスケアやヘルスプロモーションの意義を、社会の公平性・公正性という視点から考えることができる			◎ 12.他職種協調リーダーシップ		
			◎ 14.看護学発展への主体的探求姿勢		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	1, 日本とフィリピンのかかわりを学ぶ (事前学習)	講義	秦野	フィリピンについて、政治、経済、社会、文化、保健医療状況などを調べる	
2	2, WPRO (WHO, Western Pacific Regional Office) の活動内容を学ぶ	講義	(WPRO) 秦野	WHO, WPRO についてインターネットを活用し、調べる (事前学習として)	
3	3, フィリピンのキリスト教について				
	3-1, 在マニラのカトリック系活動家の方からフィリピンのキリスト教についてと、マニラでの生活について学ぶ	講演	秦野		
	3-2, マニラ市内観光 (St. Augustine Church, Manila Metropolitan Cathedral などを見学)	見学	秦野	フィリピンの歴史を調べておく	
	3-3, マザーテレサの家でのボランティア活動 (ボランティアとの協同、日本人シスターのお話)	実習	秦野	マザーテレサの家について調べておく	
4	4, カハッサ修道女会での活動				
	4-1, カハッサ修道女会 (プリハン) でのボランティア活動	実習	秦野	小児看護学を復習しておく	
	4-2, プリハン住民の健康問題や保健医療の状況を学ぶ (州立病院、地域におけるヘルスセンター見学、プリハン地区における結核問題、プリハンの家庭訪問、小学校訪問、等)	見学実習	秦野	フィリピンの保健医療問題を調べておく	
	4-3, プリハンの子供たちに健康教育を実施する	実習	秦野	健康教育の準備とリハーサルを行う	
	4-4, カハッサ修道女会 (トンド、マニラ) で妊婦検診の見学実習	実習	秦野	妊婦検診の手順を教科書、視聴覚教材を用いて事前学修する	
5	5, カハッサカレッジでの実習				
	5-1, サンパブロ州立病院での見学実習 (主に産科病棟)	実習	秦野	妊娠、出産、産褥に関し視聴覚教材を用いて事前学修しておく 母乳について調べる	
	5-2, 教会附設 高齢者施設でのボランティア活動	実習	秦野	日本の高齢者施設における活動を事前学修する	
6	6, 経験と学びを大学祭と翌年の新年度オリエンテーションなどで報告する (発表会を開催する)	発表	秦野		
成績評価方法・基準	事前学習 20% 実習中の積極的な参加 (心身の健康管理を含む) と帰国後のレポート作成 60% 報告会 20% (評価者 秦野)				
課題に対するフィードバック	事前学習は実習前に全員で共有する。実習中は、可能な限り毎日カンファレンスを開催し、学びの共有を行い、質問に対応する。				
教科書	特に指定しない。				
参考書・参考文献	2 年次の教科書、各国連機関、JICA, 外務省、NGO のホームページなどを積極的に活用すること				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	秦野環 オフィスアワー 火曜日 12 : 10～13 : 10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談 : メールでご連絡ください (office 365 メール) 国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにも体験していただきたいと思います その他 : この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	フィールドスタディⅡ（ラオス）	科目コード	BSNANS405	開設期	3 または 4 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（自由）	時間数	9 0 時間	授業区分	オンライン実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
既修の知識・技術をベースに、オンラインでの異文化体験を通じ、自分なりの国際看護のあり方を考える。 ラオス人民民主共和国は、OECD,（経済開発協力機構）の DAC（開発援助委員会） 援助受け取り国のひとつであり、開発途上国に位置づけられる。そこで生活する人々の保健医療の状況や健康問題について学修し、看護に求められているものを考え、人々の健康向上のために看護としての貢献を考えることができる。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1 事前学習としてラオス人民民主共和国の政治、経済、社会、歴史、文化などを調べ理解できる。			◎ 11.多様な価値を尊重する姿勢 ◎ 12.他職種協調リーダーシップ ◎ 14.看護学発展への主体的探求姿勢 6.コミュニケーションスキル 9.科学的根拠に基づく看護 10. ケアリングの実践		
2 ラオスにおける現在の健康問題、保健医療の現状を説明できる					
3 異文化におけるコミュニケーションを成立させるため、簡単なラオス語を学修し、あいさつ程度の会話ができるようになる。					
4 ラオスの農村部において実施されている、ISAPH（International Support and Partnership for Health）の活動をオンライン見学し、事前学習と合わせて、ラオスの農村部の人々が持つ健康問題を理解することができる。					
5 ラオスの首都、ラオスの地方都市、農村部をオンラインで訪問し、開発途上国における国内格差について理解することができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）可能な限りにおいて対面で演習、オンライン実習を行う。オンライン実習においては ZOOM を活用し、聖マリア学院大学、ISAPH 東京事務所、ISAPH ラオス事務所を接続し実施する					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	1、 事前学習（第 1 週目、学内学修 5 日間）		秦野		
2	1－1、ラオス人民民主共和国特徴を学ぶ（政治的、社会的、経済的、歴史的、文化的背景など）	演習 (対面)	秦野	インターネットを活用し、ラオスについて調べる。 特に健康問題、保健医療について調べる	2 時間
3	1－2、ラオスの保健医療状況、健康問題などの指標収集し、現状を把握する	演習 (対面)	秦野	インターネットを活用し、ラオスについて調べる。 特に健康問題、保健医療について調べる	2 時間
4	1－3、ISAPH の活動について学修する	演習 (対面)	秦野	インターネットで ISAPH の活動状況を調べる	2 時間
5	1－4、あいさつ程度のラオス語を学修する	演習(対面)	秦野		
6	2、 オンラインフィールドスタディ（第 2 週目、オンラインフィールドスタディ）	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野	事前学修した内容を理解して臨む	2 時間
7	2－1、ISAPH の活動地域である、ラオス、カムアン県タケク市近郊の農村地区において ISAPH の活動をオンライン見学する。	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
8	2－2、カムアン県にある県・郡病院をオンライン見学する	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
9	2－3、カムアン県タケク市内の街、人々の生活の様子をオンラインツアーで学修する	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
10	2－4、首都ビエンチャンの街の様子、人々の生活の様子をオンラインツアーで学修する	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
11	2－5、首都の国立医学教育病院（マホソット総合病院）をオンライン見学する	オンライン実習 〈対面/遠隔〉	秦野		2 時間
12	3、 事後学習（学内学修）		秦野	事前学修、オンラインフィールドスタディでの学びを統合させる	
13	3－1、ラオス国において学んだことをもとに、各自が報告書を作成する。 3－2、オンラインフィールドスタディでの学びをグループで振り返り、プレゼンテーションを行う	自己学習とプレゼンテーション (面接)	秦野		
成績評価方法・基準		事前学習 20% 学内学修への積極的な参加（30%）、オンラインフィールドスタディへの参加（50%）（評価者 秦野）			
課題に対するフィードバック		事前学習・事前学内学修での学びの共有を行い、オンラインフィールドスタディでの学修内容に関しては、内容ごとに理解の確認を行う			

教科書	特に指定しない。国連機関、JICA、NGOs 大使館のホームページなどを活用し、十分な情報収集を行うこと
参考書・参考文献	上記に同じ。
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください（office 365 メール） ＊国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにも体験していただきたいと思います その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です

開設科目名	フィールドスタディー II (ラオス・タイ)	科目コード	BNSA405	開設期	3 または 4 年前期
単位数 (履修区分)	2 単位 (自由)	時間数	9 0 時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要 (授業の目的)					
既修の知識・技術をベースに、実際に異文化の中に身を投じるという体験を通じ、自分なりの国際看護のあり方を考える。 * ラオス人民民主共和国は、東南アジアの中でも最も貧困な国のひとつである。そこで生活する人々の保健医療の状況や健康問題について学修し、看護に求められているものを考え、看護大学生として実践できる健康教育を行う。 * タイ王国では姉妹校である St. LouisCollege を訪問し、タイの看護を概観する。加えて世界の中でも HIV 新規感染者の数を劇的に減少させた国での取り組みや、覚せい剤や麻薬常習者への健康改善の取り組みについて学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1 事前学習としてラオス人民民主共和国、タイ王国の政治、経済、社会、歴史、文化などを調べ理解できる。			11 異文化理解と国際貢献		
2 両国における現在の健康問題、保健医療の現状を説明できる			1 全人的ケアの基本、5 看護の基礎、10 将来の課題と看護職の役割		
3 異文化におけるコミュニケーションを成立させるため、言語的・非言語的コミュニケーションを工夫し、会話ができるように準備することができる。			1 全人的ケアの基本、5 看護の基礎		
4 ラオスの農村部において、ISAPH (International Support and Partnership for Health) の活動を見学し、事前学習と合わせて、現地に適した (子供に対する) 健康教育の実施ができる。			1 全人的ケアの基本、5 看護の基礎、11 異文化理解と国際貢献、		
5 タイの首都バンコクにある St. LouisCollege、スラム地区にある NGO、エイズにかかわる事業などを見学し、タイにおける看護と感染症対策や人々の健康向上のための取り組みを理解することができる。			1 全人的ケアの基本、5 看護の基礎、11 異文化理解と国際貢献、		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	担当者	方法	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	1、 事前学習	秦野			
2	1－1、ラオス人民民主共和国、タイ王国の特徴を学ぶ (政治的、社会的、経済的、歴史的、文化的背景など)	秦野	演習	インターネットを活用し、ラオス、タイについて調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	2 時間
3	1－2、両国の保健医療状況、健康問題などの指標収集し、現状を把握する	秦野	演習	インターネットを活用し、ラオス、タイについて調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	2 時間
4	1－3、あいさつ程度のラオス語・タイ語を準備する	秦野	演習		2 時間
5	2、 フィールドスタディー	秦野	実習		
6	2－1、ラオス、カムアン県タケウ市近郊の農村地区において ISAPH の活動を見学する。	秦野	実習	ラオス全般について調べておく	2 時間
7	2－2、日々実習を振り返り、保健医療問題、文化・社会的背景を知り、解決方法を含む助言を考える	秦野	実習		2 時間
8	2－3、カムアン県にある県・郡病院の見学	秦野	実習		2 時間
9	2－4、ピエンチャンにある国立医学教育病院見学	秦野	実習		2 時間
10	2－6、ラオス JICA 事務所、WHO ラオス事務所を訪問し、ラオスの保健医療事業活動について学ぶ	秦野	実習		2 時間
11	2－7、タイ St. Louis College、St. Louis hospital、タイ王国公衆衛生・保健省、バンコクのスラム地区の NGO、HIV エイズ関連事業を訪問し、タイにおける看護の実際、感染症対策について学ぶ。	秦野	実習	タイについて調べておく。	2 時間
12	3、 事後学習	秦野			
13	3－1、ラオス・タイ両国において学んだことをもとに、報告書を作成し、大学祭と翌年度の新年度オリエンテーションにおいて報告を行う	秦野	自己学習とプレゼンテーション		
成績評価方法・基準 課題に対するフィードバック	事前学習 20% 実習中の積極的な参加 (心身の健康管理を含む) と帰国後のレポート作成 60% 報告会 20%				
教科書 (番号があるもの) 参考書・参考文献	特に指定しない。国連機関、JICA、NGOs 各大使館のホームページなどを活用し、十分な情報収集を行うこと				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ	秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください (office 365 メール) * 国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにも体験していただきたいと思います				

開設科目名	フィールドスタディⅡ（韓国）	科目コード	BSNANS405	開設期	3年または4年前期
単位数（履修区分）	2単位（自由）	時間数	90時間	授業区分	実習
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
既習の知識・技術をベースに、実際に異文化の中に身を投じるという体験を通じ、自分なりの国際看護のあり方を考える。 医療施設内（釜山カトリック大学学生実習施設、ソウル聖マリア病院、他）において、見学実習を行うことで、大韓民国における保健医療の状況や、看護の文化的・歴史的・社会的背景を知る。 大韓民国の看護の発展を学び、その特徴を、日本を含む諸外国と比較する。 大韓民国の保健医療状況、健康問題、特に最近の社会状況、例えば高齢社会における看護の役割を考え、討論することができる。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1 事前学習として大韓民国の政治、歴史、文化などを調べ、理解できる			◎ 6.コミュニケーションスキル、 9.科学的根拠に基づく看護 10. ケアリングの実践、 11.多様な価値を尊重する姿勢、 ◎ 12. 多職種協調リーダーシップ ◎ 14.看護学発展への主体的探求姿勢		
2 韓国における現在の健康問題、保健医療の現状を理解し、説明できる					
3 異文化コミュニケーションを成立させるため、言語的・非言語的コミュニケーションを工夫することができる					
4 医療施設内で展開される看護を見学し、現在の大韓民国の看護についての理解を深める					
5 花の村への訪問で、大韓民国の現在の保健・福祉分野の特徴、問題、社会的背景を理解できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	1、事前学習		秦野		
	1－1、大韓民国の政治、経済、社会、文化などについて調べる 1－2、韓国の保健医療問題について調べる 1－3、日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）英語でのプレゼンテーションを行う準備をする	演習	秦野	インターネットを活用し、韓国について調べる。特に健康問題、保健医療について調べる 日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）英語でのプレゼンテーションを行うことができるように準備する	2時間
2	2、釜山において 2－1、釜山カトリック大学校の学生実習施設における見学実習（2次医療施設、高齢者施設、など） 2－2 釜山カトリック大学校において、韓国の保健医療の状況、韓国の看護の歴史、などの講義を受ける 2－3、釜山カトリック大学校の学生との交流、文化体験学修	演習	秦野	インターネットを活用し、韓国について調べる。特に健康問題、保健医療について調べる	2時間
3	3、ソウルにおいて 3－1、韓国カトリック大学校看護学部において大韓民国の健康問題、高度実践看護師の状況、WHO コラボレーションセンターの役割についての講義を受ける 3－2、日本の現状（保健医療、福祉、健康問題、看護について）英語でプレゼンテーションを行う 3－3、ソウル聖マリア病院内で看護学見学実習を行う。ホスピスと在宅看護部門での実習を含む	実習	秦野	事前学習したことを、再度復習しておく 日本のホスピスと在宅看護（訪問看護）について学習しておく	
4	4、コッソネ 花の村訪問	実習	秦野	花の村とはどういうところか調べておく	2時間
5	5、事後学習		秦野		
	5－1 報告書を作成する	演習	秦野		
	5－2、大学祭と翌年の新年度オリエンテーションなどで報告会を行う		秦野	事前学習から実習全体を振り返り、経験を共有できるように準備する	4時間
成績評価方法・基準		事前学習 20%、実習中の積極的な参加（心身の健康管理含む）と帰国後のレポート作成 60%、報告会 20%（評価者 秦野）			
課題に対するフィードバック		事前学習は実習前に全員で共有する。実習中は、可能な限り毎日カンファレンスを開催し、学びの共有を行い、質問に対応する。			
教科書		特に指定しない。国連機関、JICA、NGOs 各大使館のホームページなどを活用し、十分な情報収集を行うこと			
参考書・参考文献		上記に同じ			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		秦野環 オフィスアワー 火曜日 12：10～13：10、そのほかの時間帯はメールでご連絡ください。 学習相談：メールでご連絡ください（office 365 メール） ＊国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにも体験していただきたいと思います その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	看護管理学	科目コード	BSNANS309	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	近末清美	担当者	矢野正子、近末清美他		
授業の概要（授業の目的）					
管理看護の歴史を概観し、看護管理の基礎的知識と組織の中に求められるリーダーシップについて学習する。また、保健医療政策・看護政策に関する意思決定の仕組みや看護活動と医療経済的側面から看護管理のあり方を理解し、看護管理の実際について事例を通じて管理の改善・評価の実際について教授する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 看護管理の歴史や看護活動の変遷を通し、看護職としての使命、役割と責務を理解できる。			11 多様な価値を尊重する姿勢 ◎ 12 他職種協調、リーダーシップ		
2. 看護マネジメントの意味づけと方法を理解できる。					
3. 病院管理の基本構成と管理を理解できる。					
4. 看護管理の実際を理解できる。組織における看護の機能と看護活動の在り方、看護の質の管理および改善への取組を理解できる。					
5. 保健・医療・福祉における協働および、看護職に求められる役割を理解できる。					
6. 看護職としてのセルフマネジメントの重要性を理解できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔時：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護職の活動の変遷、看護管理とは	講義 〈遠隔〉	矢野	p18-25 p28-34 を読んでくる	4 時間
2	看護管理の基本（組織、看護サービスの特徴、看護管理のプロセス、専門職とは）	講義 〈遠隔〉	近末	p34-62 を読んでくる 看護提供システム、マネジメントサイクル（PDCA）について調べる	4 時間
3	看護の対象や看護職者の多様化と人材育成	講義 〈遠隔〉	近末	p 12-17 を読んでくる 特定行為について調べる	3 時間
4	病院組織とマネジメント（医療と経済、医療保険制度、診療報酬制度、医療制度改革と医療計画、組織決定、医療の質、経営指標など）	講義 〈遠隔〉	近末 (GS)	p 188-196 を読んでくる 講義内容から理解した点をテキスト①を用いまとめる	4 時間
5	看護の質保証と看護管理	講義 〈遠隔〉	近末	第 4 章を読んでくる 看護の質について考える	4 時間
6	看護管理のスキル（リーダーシップとデリゲーション）	講義 〈遠隔〉	近末	第 5 章を読んでくる	4 時間
7	リーダーシップの自己分析	演習 〈討議〉	近末	自身のリーダーシップについて考える	3 時間
8	看護に関する法律・制度	講義 〈遠隔〉	近末	第 8 章を読んでくる	4 時間
成績評価方法・基準	①授業外レポート 80% ②授業内課題への取組 20%				
課題に対するフィードバック	課題へのフィードバックは授業時間内および後日行います。				
教科書	吉田千文他「ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践(1) 看護管理」2018 年改訂 第 4 版 メディカ出版				
参考書・参考文献	・看護六法 令和 3 年版 新日本法規出版 ・日本の看護のあゆみー歴史をつくるあなたへー（2014）日本看護協会出版会 ・最強のリーダーシップ理論集中講義（2013）小野善生, 日本実業出版社 ・リーダーシップ入門（2005）金井壽宏, 日本経済新聞社 ほか授業中配布資料				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	近末清美 7 号館 3F 734 研究室 オフィスアワー 水曜 16:30～17:30 ＊上記時間帯以外も事前に連絡あれば相談に応じます（office で事前に連絡をしてください） その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 科目責任者は看護管理者のダイバーシティ・マネジメントに関する研究を行っており、その研究成果の一部を第 3 回において説明します。				

開設科目名	看護研究Ⅰ	科目コード	BSNANS310	開設期	3年前期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	中村和代	担当者	中村和代、桃井雅子、小浜さつき		
授業の概要（授業の目的）					
看護研究の役割と意義を知り、文献検索の方法をはじめ具体的な研究のプロセスについて理解する。また、研究者における態度や姿勢、倫理的配慮について理解を深める。社会や人々の幸福（Well-being）を目指した看護研究への関心・意欲を高める導入とする。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 看護研究の役割と意義について理解することができる			4. 論理的・科学的・問題発見力 9. 科学的根拠に基づく看護 ◎14. 看護学発展への主体的探求姿勢		
2) 論文のクリティークについて説明できる					
3) 研究のプロセス、研究方法について理解できる					
4) 研究者における態度や姿勢、倫理的配慮について理解できる					
5) 文献検索の方法が説明できる					
6) ロイモデルを用いた文献を読み、理論と実践のつながりを考えることができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護研究の役割と意義、研究のプロセス	講義＜Teams＞	中村	テキスト 第1章、第2章を読んでおく	4時間
2	研究デザイン、研究の進め方	講義＜Teams＞	中村	テキスト 第4章、5章を読んでおく	4時間
3	論文のクリティークの意義と方法	講義＜Teams＞	桃井	テキスト 第3章を読んでおく	4時間
4	論文のクリティークの実際	講義＜Teams＞	桃井	提示された論文を読みクリティークしておく	4時間
5	文献検索方法・文献収集の実際	演習＜Teams＞	中村	テキスト 第3章を読み、興味・関心のあるキーワードを考えておく	4時間
6	質的研究：質的研究の実際、理論と実践の繋がりなど	講義＜Zoom＞	小浜	テキスト 第4章、第6章を読んでおく	4時間
7	看護研究における研究者の態度や姿勢、倫理的配慮	講義＜Zoom＞	小浜	テキスト 第5章、5節を読んでおく	4時間
8	研究成果を公表する意義、論文にまとめる意義	講義＜Teams＞	中村	テキスト 第8章を読んでおく	2時間
成績評価方法・基準	評価の方法：1) 受講態度・参加姿勢：10% 2) 課題への取り組み：90% （評価者：中村） 出席は、Zoom、Teams への入室状況で確認致します。				
課題に対するフィードバック	講義ごとに「Forms」に回答頂き、フィードバックの機会とする				
教科書	・早川和生 看護研究の進め方 論文の書き方 第2版 医学書院 2014				
参考書・参考文献	授業の中で論文など提示します 桂敏樹;かんたん看護研究,南江堂,2012. 中村好一; 基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆, 医学書院				
オフィスアワー 学修相談 メッセージ その他	オフィスアワー：各教員のオフィスアワーをご参照下さい。 メッセージ：看護研究Ⅱに関連する科目です。実習中に自分が研究したいキーワードを意識して探しましょう。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 第2回めは、J-micc Study から横断研究、縦断研究についてご紹介いたします。 第6回めは、「熟練看護師の暗黙知」に関する質的研究の研究成果を基に展開します				

設科目名	看護研究Ⅱ	科目コード	BSNANS311	開設期	3年後期-4年通年
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	90時間	授業区分	演習
責任者	中村和代	担当者	ゼミ担当教員		
授業の概要（授業の目的）					
関心のあるテーマについて目的を明確にし、データを収集する。得られた結果について文献を活用して考察し、結論を導くという一連のプロセスを学修する。社会や人々の幸福（Well-being）を目指した看護研究への関心・意欲を高める導入とし、科学的思考、問題解決について探求していく姿勢を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 関心をもった内容を課題として明らかにできる			4. 論理的・科学的問題発見力 5. 問題解決判断力 ◎9. 科学的根拠に基づく看護 ◎14. 看護学発展への主体的探求姿勢		
2) 課題を探究する動機や課題の背景について先行研究を活用して記述できる					
3) 研究目的を明確にし、5W1Hを意識して研究計画書を作成できる					
4) 倫理的配慮に留意し、研究計画書に沿ってデータを収集できる					
5) 得られたデータを適切な方法で分析し、図表を活用して結果を表現できる					
6) 結果について文献を活用して考察し科学的・論理的に結論を導くことができる					
7) 研究テーマ、研究目的、結果、結論まで筋が通るように記述できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔時の授業方法：zoom、teams等、各担当教員の指示に基づく					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス	講義<Teams>	中村	関心のあるテーマについて文献収集しておく	
2	文献収集	ゼミナール <対面/遠隔>	ゼミ担当教員	研究のすすめ方は、指導教員の指示による	
3	論文のクリティーク				
4	研究計画書作成				
5	研究実施				
6	結果の分析				
7	論文作成				
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準		ゼミナールへの参加状況・態度 20%，研究実施、抄録・論文作成 80%，（評価者：各担当教員）			
課題に対するフィードバック		各ゼミナールの中で随時フィードバックいたします			
教科書		早川和生；看護研究の進め方 論文の書き方 第2版，医学書院，2014			
参考書・参考文献		中村好一；基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆，医学書院，2013 道又元裕；ケアの根拠 第2版 看護の疑問に答える180のエビデンス，日本看護協会出版会			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		実習中に疑問に思ったこと、エビデンスを探究したいこと等、その都度控えておきましょう。 指導教員と連絡を密に取り、計画的に進めましょう。 この科目では、倫理審査を受けませんので倫理的配慮については、十分に留意し、指導教員の指示に従ってください。 オフィスアワー：各指導教員のオフィスアワーは、ご確認ください。 学修相談は、随時、受付ます。Office365メール利用も可 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 各ゼミ指導者から、テーマに関連する研究成果をご紹介します。			

開設科目名	看護安全管理論	科目コード	BSNANS312	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	近末清美	担当者	近末清美、櫻木りる		
授業の概要（授業の目的）					
医療・看護は社会性・公益性が求められる活動であることから、今日のリスクマネジメントの考え方を整理し、医療・看護における危機・安全・質管理の側面より、医療安全管理の考え方・活動の実際・個人のリスクマネジメント・インシデントについて教授する。具体的には①医療事故とは何か②医療事故の種類、内容③医療機関における医療安全体制④個人のリスクマネジメント⑤医療機関の安全対策⑥医療・看護における安全対策⑦医療安全と看護の責任 について事例を通して教授する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 医療安全の動向と基本的知識を説明できる。			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 ◎ 5 問題解決判断力		
2. 看護業務の範囲と責任について説明できる。					
3. 医療安全のための組織的な取組みについて理解できる。					
4. ヒューマンエラーの知識を活かした事故防止対策について説明できる。					
5. インシデントレポート報告・事故報告の意味と必要性について説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）※遠隔授業時の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	医療安全と看護の理念	講義 〈遠隔〉	近末	テキスト第 1 章を読んでおく。 提示された課題に取り組む	4 時間
2	医療安全への取組と医療の質の評価	講義 〈遠隔〉	近末	テキスト第 2 章を読んでおく 提示された課題に取り組む	4 時間
3	事故発生のメカニズムとリスクマネジメント	講義 〈遠隔〉	近末	テキスト第 3 章を読み事前課題に取り組む 提示された課題に取り組む	4 時間
4	医療機関の安全対策と取り組み 医療安全管理者の取り組み、医療事故後の対応	講義 〈遠隔〉	櫻木	テキスト第 4 章 p110～119、第 8 章を読んでおく	3 時間
5	看護における医療事故と安全対策	講義 〈遠隔〉	近末	テキスト第 4・5 章を読んでおく 提示された課題に取り組む	3 時間
6	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策	講義 〈遠隔〉	近末	テキスト第 7 章、第 8 章を読んでおく 提示された課題に取り組む	4 時間
7	KYT による事例分析、リスク感性演習、SBAR	講義 GW 〈遠隔〉	近末	講義や演習内容を整理しておく 提示された課題に取り組む	4 時間
8	医療事故後の対応、インシデントレポートの意義	講義 〈遠隔〉	近末	テキスト第 9 章を読んでおく 提示された課題に取り組む	4 時間
成績評価方法・基準	①授業外レポート 60% ②授業内課題への取組 40% 評価者：科目責任者				
課題に対するフィードバック	授業内課題へのフィードバックは授業時間内に行います				
教科書	・松下由美子他：ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践(2) 医療安全、メディカ出版、2021 年改訂第 4 版				
参考書・参考文献	・L. コーン／J. コリンガン／M. ドナルドソン『人は誰でも間違える』日本評論社 2001 ・荒井俊行著ほか『看護師の法的責任』日本看護協会出版社会 2011 ・隈本邦彦著『医療・看護事故の真実と教訓』ライフサポート社 2011 ・医療安全推進のための標準テキスト 日本看護協会 2013 ・芳賀繁著『絵でみる 失敗のしくみ』日本能率協会マネージメントセンター2013 ・河野龍太郎著『医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ』日本規格協会 2010				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	近末清美 7 号館 3F 734 研究室 オフィスアワー 水曜 16:30～17:30 ＊上記時間帯以外も事前に連絡あれば相談に応じます（office で事前に連絡をしてください） その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	チームケアとナースングリーダースhip	科目コード	BSNANS313	開設期	3 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	近末清美	担当者	日高艶子、宮林郁子、鶴田明美、近末清美、小浜さつき、石本祥子、他		
授業の概要（授業の目的）					
本科目では、3 年後期に開講される臨地実習で体験する保健医療福祉にかかわる多職種で構成されるチームケアとナースングリーダースhipの学修を深めるための基礎的知識について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 保健医療福祉にかかわる多職種で構成されるチームとチームケアについて説明できる。			12. 他職種協調 リーダースhip		
2. ナースングリーダースhipについて説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等） ※遠隔授業時の方法：Zoom による同時双方向型					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	多職種チームとチームケア	講義 〈遠隔〉	近末	多職種チームメンバー、多職種チームの構造について調べる。講義終了後に復習を行なう。	2 時間
2	ナースングリーダースhip①	講義 GW 〈遠隔〉	宮林	看護リーダーの特性とリーダースhip要件について事前に学習する。講義終了後に復習を行なう。	4 時間
3	ナースングリーダースhip②	講義 GW 〈遠隔〉	宮林	看護リーダーの特性とリーダースhip要件について事前に学習する。講義終了後に復習を行なう。	4 時間
4	多職種チームとナースングリーダースhip ①クリティカル領域の提示された課題について各グループで検討する。	講義 GW 〈遠隔〉	鶴田	クリティカル領域における多職種チームとナースングリーダースhipについて予習し、講義終了後に復習に取り組む。	4 時間
5	多職種チームとナースングリーダースhip ②リハビリテーション領域の提示された課題について各グループで検討する。	講義 GW 〈遠隔〉	日高	リハビリテーション領域における多職種チームとナースングリーダースhipについて予習し、講義終了後に復習に取り組む。	4 時間
6	多職種チームとナースングリーダースhip ③栄養サポートチーム等の提示された課題について各グループで検討する。	講義 GW 〈遠隔〉	小浜 石本	栄養サポートチーム、褥瘡対策チームとナースングリーダースhipについて予習し、講義終了後に復習に取り組む。	4 時間
7	多職種チームとナースングリーダースhip ④退院支援チームの提示された課題について各グループで検討する。	講義 GW 〈遠隔〉	近末	退院支援チームとナースングリーダースhipについて予習し、講義終了後に復習に取り組む。	4 時間
8	リーダースhipとデリゲーション まとめ	講義 GW 〈遠隔〉	近末	自身のリーダースhipスタイルを踏まえ、多職種チームの中での看護職の役割を考える。	4 時間
成績評価方法・基準	レポート 80%、授業参加度（発言、課題への意欲） 20% 評価者：科目責任者				
課題に対するフィードバック	課題へのフィードバックは授業時間内および後日行います。				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	各担当教員が適宜紹介します。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	近末清美研究室（7 号館 3 階、734） オフィスアワー： 水曜 16:30～17:30 ＊ 上記時間帯以外も事前に連絡あれば相談に応じます（office で事前に連絡をしてください） その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				